

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

鹿児島県 枕崎市

自治体名：鹿児島県枕崎市

担当課名：枕崎市教育委員会学校教育課

電話番号：0993-76-1243

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	75 km ²
人口	18,370 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	407 人
部活動数	22 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】

- ・ 令和6年度は、年4回（5月・7月・10月・2月）の部活動地域移行推進協議会を開催し、学校部活動の地域移行に向けた検討を重ねた。
- ・ 地域移行の実施モデルとして、2競技の地域移行に取り組んだ。

実施モデル①：枕崎卓球クラブ

（令和5年10月～令和6年9月）

実施モデル②：枕崎市バレーボールクラブ

（令和6年10月～令和7年3年）

- ・ 各学校及び各地域、各種関係機関等への説明会を実施した。

各学校：P T A 総会等、各学校部活動の顧問、保護者向け等

各種関係機関：各種スポーツ協会・連盟、文化協会等

- ・ 令和8年度の休日の地域移行に向け、合同部活動による練習の機会を設定し、活動を始めている。



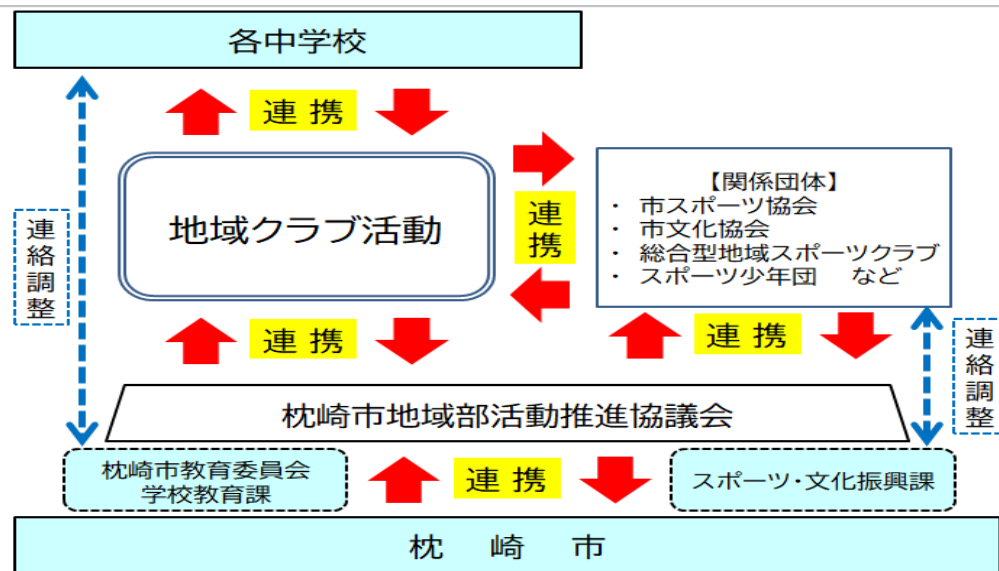
【課題】

- ・ 継続的かつ円滑な地域移行を進めるために、本市の実情を踏まえた受益者負担と公的負担のバランスについて検討が必要である。
- ・ 持続可能な活動体制を整えるために、人材確保（地域指導者及び兼職兼業の行う教職員）に向けた人材バンクの設定について、各種関係機関と協力した整備が必要である。
- ・ 集合型による地域クラブ活動においては、活動場所までの送迎について、保護者への丁寧な説明が必要である。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育課）

- ・各学校（顧問、連絡調整係）との連携及び情報共有
- ・各学校及び保護者等への説明会やアンケート等の実施
- ・地域クラブ活動と各学校との連携及び情報共有における助言

◎首長部局（スポーツ・文化振興課）

- ・スポーツ協会、文化協会等の関係機関と連携した地域クラブ活動の推進
- ・地域クラブ活動の活動状況等の把握及び活動に対する助言
- ・持続可能な地域クラブ活動の運営に向けた取組（人材バンクの管理等）

年間の事業スケジュール

令和6年4月	地域クラブ活動「枕崎市卓球クラブ」活動開始
令和6年4月	地域クラブ活動「軟式野球」に向けた検討会
令和6年5月	各中学校（PTA総会等）における説明会の実施
令和6年5月	第1回枕崎市地域部活動推進協議会
令和6年5月	地域クラブ活動「軟式野球」に向けた検討会
令和6年6月	各スポーツ協会との情報共有
令和6年6月	地域クラブ活動「軟式野球」に向けた検討会
令和6年7月	第2回枕崎市地域部活動推進協議会
令和6年9月	地域クラブ活動「枕崎市バレーボールクラブ」に向けた顧問及び保護者向け説明会
令和6年10月	地域クラブ活動「枕崎市バレーボールクラブ」活動開始
令和6年10月	第3回枕崎市地域部活動推進協議会
令和6年11月	地域クラブ活動「ソフトテニス」に向けた検討会
令和6年11月	地域クラブ活動「バドミントン」に向けた検討会
令和6年12月	地域クラブ活動「ソフトテニス」に向けた検討会
令和7年2月	第4回枕崎市地域部活動推進協議会
令和7年2月	地域クラブ活動「サッカー」に向けた検討会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		
全体の指導者数	2 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
枕崎卓球クラブ	枕崎市教育委員会	卓球	月1～4回	8時30分～11時30分	中学校1年～3年	4月～9月	枕崎市総合体育館	1人	3人（他クラブと兼務：3人）	1,500円～2,000円（部費）	中体連：部活動
枕崎市バレーボールクラブ	枕崎市教育委員会	バレーボール	月1～4回	8時30分～11時30分	中学校1年～3年	10月～3月	枕崎市立立神中学校	1人	3人（他クラブと兼務：3人）	2,000円～3,000円（部費）	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 地域クラブ活動へのスムーズな移行に向けた合同部活動の実施

- ・ ソフトテニス

実施時間帯 8時30分～11時30分

実施場所 枕崎市市営テニスコート

参加者 枕崎市の4中学校14人（枕崎中・桜山中・別府中・立神中）



【ソフトテニス合同部活動の様子】

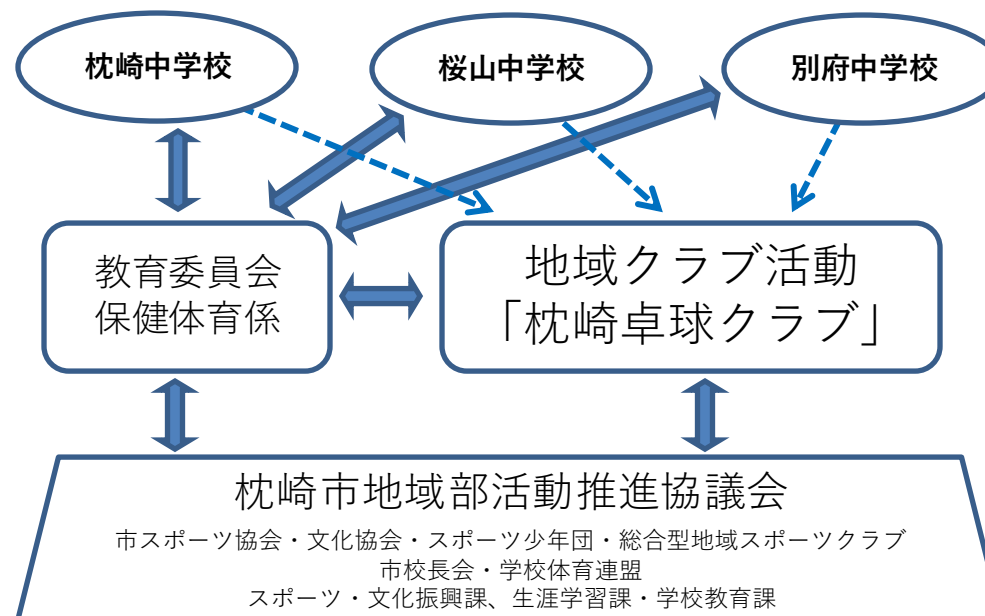
2.実証内容と成果

主な取組例

● 枕崎卓球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	枕崎卓球クラブ
期間と日数	卓球：4月～9月 (月1～4回程度)
指導者の主な属性	地域指導者
活動場所	枕崎市総合体育館
主な移動手段	徒歩及び自転車 保護者による送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	卓球：1,500円～2,000円(月)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,800円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



【成果】

- ・ 指導者による専門的な指導により、技術面の向上がみられた。
- ・ 参加人数が増えることで、練習内容の充実が図られた。

【課題】

- ・ 練習場所までの移動について、保護者のよる送迎が必要となり、保護者の負担が大きくなった。
- ・ 学校部活動の顧問と地域クラブ活動の指導者との連携を図ることが難しかった。（指導方針や指導方法など）
- ・ 地域クラブ活動の指導者と参加生徒との関係性を構築するための十分な時間を確保するのが難しかった。

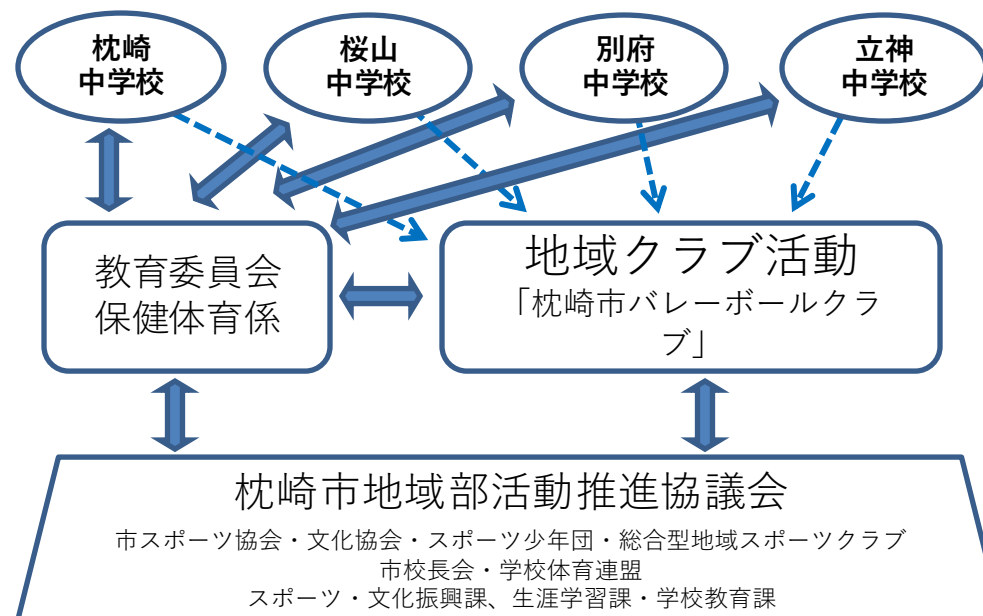
2.実証内容と成果

主な取組例

● 枕崎市バレーボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	枕崎市バレーボールクラブ
期間と日数	バレーボール：10月～3月 (月1～4回程度)
指導者の主な属性	教職員（兼職兼業）
活動場所	枕崎市立立神中学校体育館
主な移動手段	徒歩及び自転車 保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	バレーボール：2,000円～3,000円 (月)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



【成果】

- ・ 参加人数が増えることで、練習内容の充実が図られた。
- ・ 指導者による専門的な指導により、技術面の向上がみられた。
- ・ 部活動に所属していない生徒も参加対象とすることで、男子生徒の参加者が増えた。

【課題】

- ・ 年度途中からの地域クラブ活動となり、各中学校ごとに合同チームや練習試合などの計画があり、定期的に練習日を設定することが難しかった。
- ・ 今後、継続的な活動の機会を確保するために、複数の指導者による指導体制を整えていきたい。（現在は、指導者1人）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

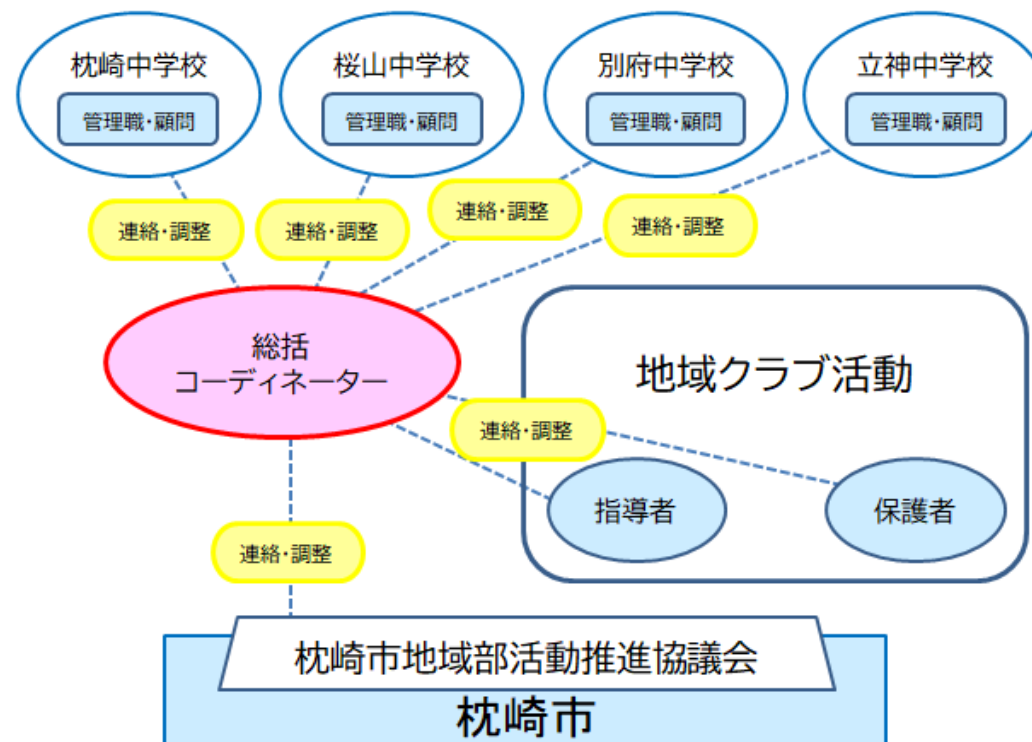
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【総括コーディネータの配置】

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ① 関係機関との連携に関すること
 - ・ 市スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどの関係機関との情報共有
 - ・ 中学校体育連盟（県・地区等）との情報交換
 - ・ 既存のスポーツクラブ（スイミングクラブ、柔道、空手等）との情報交換
 - ・ スポーツ少年団等の活動視察及び情報交換
- ② 中学校との連携に関すること
 - ・ 学校（管理職、職員）、保護者への地域移行に係る説明
 - ・ 合同部活動の推進に向けた各部顧問との連絡・調整
 - ・ 学校部活動の活動視察及び情報交換
 - ・ 地域クラブ活動の活動状況等について学校（管理職、職員）と情報共有
- ③ その他
 - ・ 地域クラブ活動の活動視察及び情報交換
 - ・ 地域クラブ活動の指導者向けの研修の計画・実施
 - ・ 地域企業等との連携・協力
 - ・ 地域クラブ活動の指導者への指導・助言
 - ・ 関係機関と連携した人材確保に向けた取組（人材バンクの設置等）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【取組状況】

- ① 関係機関との連携に関すること
 - ・ 各スポーツ協会・連盟（バレーボール、バドミントン、サッカー、バスケットボール、野球、ソフトテニスなど）との地域移行に係る情報共有
 - ・ 中学校体育連盟（地区、バレー専門部など）との地域移行に係る情報共有
 - ・ 既存スポーツクラブ（スイミング、柔道、空手など）との地域移行に係る情報共有
- ② 中学校との連携に関すること
 - ・ 各中学校のPTA総会における地域移行に係る説明
 - ・ 各地区の公民館における地域移行に係る説明会の実施
 - ・ 各部活動（卓球、バレーボール、ソフトテニス）の保護者向け説明会の実施
 - ・ 各部活動（バレーボール、ソフトテニス、サッカー）の顧問との地域移行に係る検討会
- ③ その他
 - ・ 地域クラブ活動の指導者との定期的な連絡調整会の実施
 - ・ 地域区部活動の指導者向け研修の実施



今後の課題と対応方針

- ☐ 地域クラブ活動としての認定制度…学校部活動からの地域移行であることを認定するための制度について検討する。
- ☐ 地域人材の確保に向けた具体的な取組…持続可能な活動体制を整備するため、1クラブ複数人の指導者を確保する。
- ☐ 自立した地域クラブ活動の運営…受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方について検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

地域部活動の意義や役割を理解し、指導技術のみならず、暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラスメント等の根絶、熱中症やスポーツ障害・外傷などの活動中の事故を防止するための指導者研修会の実施

取組の成果

市教委主催のもと各団体指導者を対象に実施した。それぞれ指導経験が十分にあるが、改めて研修を受けることで理解を深める機会となった。



今後の課題と対応方針

- ☐ 指導者の各種研修会の受講を地域クラブ認定要件とする。
- ☐ 県教委や各種競技団体が主催する研修会への積極的な参加を呼び掛ける。
- ☐ 暴言・暴力、ハラスメントなどが起こった際の対応（相談窓口、認定取り消し・活動の再開手順等）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 「バドミントンスポーツ少年団」が活動をしている。指導者は、主に市バドミントン協会の方々がやっている。そこで、市バドミントン協会の役員と数回にわたり話し合いを行った結果、市バドミントン協会とバドミントンスポーツ少年団が共同で実施することになった。
- 「ソフトテニス」については、地域の指導者が確保できたことから、各学校の顧問と話し合いを持った。指導者と説明会を実施し、「日曜日」に仕事の都合がつくので練習を開始したいと計画したが、保護者による送迎が困難であるとのことにより、まずは、顧問の代表者が土曜日のみ合同部活動ということで実施している。

取組の成果

- 市バドミントン協会とバドミントンスポーツ少年団の連携が図られた。
- 市バドミントン協会主催による大会に多くの児童生徒が参加した。
- 近隣市からの参加者もいる。
- ソフトテニスの合同部活動を実施したことにより、部活生が少ない学校の生徒にとって、多い人数での活動になったことで練習に対する刺激が多かった。

今後の課題と対応方針

- 「休日」「平日」を含めて保護者による送迎
- 地域指導者の仕事関係の調整・・・職場との連携
- 指導者と保護者との関係・・・指導者任せにならない保護者会の育成
- 指導者と生徒の関係・・・学校職員でないことから生徒と接する時間が少ない。



【バドミントン協会との検討会】



【ソフトテニス部の移行に係る保護者説明会】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ☐ 地域の指導者（総合型地域スポーツクラブ「きばらん海」クラブで活動をしている地域指導者、中学校で卓球クラブの指導をしている地域指導者）による活動
- ☐ 市内の中学生全員に募集を実施

取組の成果

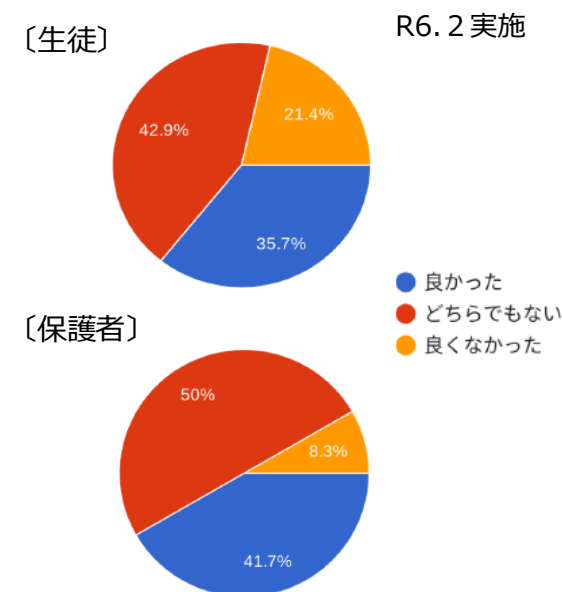
- ☐ 指導者の専門的な技術指導を受け、上位の成績を目指す生徒がいた。
- ☐ 指導者の指導方法に納得している保護者がいた。

今後の課題と対応方針

- ☐ 指導者との関係
 - ・ 上位の成績を目指す生徒がいる反面、エンジョイ型の生徒とのギャップ解消方法
- ☐ 保護者による生徒の送迎
 - ・ 練習会場から遠い生徒の送迎に難を示す。保護者の仕事の繁忙期に対応が難しい。
 - ・ 公共交通機関の便数が非常に少ない。
- ☐ 謝金等
 - ・ 活動人数によって保護者負担が増える。
- ☐ 活動場所使用料
 - ・ 「学校部活動」から「地域クラブ活動」に対する公共施設の使用料金免除等の検討



卓球クラブの活動に関するアンケート



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

市内の4校区公民館（地域への呼びかけ）、4中学校（PTA総会等）、4中学校の部活動に参加している保護者への説明会、市内スポーツ少年団等への指導者・連盟・協会等への説明会を実施

受益者負担に関する説明

- ☐ 活動については、これまでは「学校部活動費」として支払っていた分を「地域クラブ活動」として始めることにより「地域クラブ活動費」が必要となる。
- ☐ 「地域クラブ活動費」は、「学校部活動費」と同等の金額にしたいと考えている。
- ☐ 競技・種目等によって参加人数が少ない場合、「地域クラブ活動費」が増えることもある。参加人数が多い競技・種目によっては、今までよりも少なくなることもある。
- ☐ 会場費用等については、支払わなければならないこともあるかもしれないので、市スポーツ文化・振興課と連携を図り、指定管理者と話し合いを実施して負担軽減に努めたい。



2.実証内容と成果③

【地域クラブ活動及び合同部活動】

アンケート結果・広報資料

枕崎市バレーボールクラブ

枕崎市学校部活動地域移行モデル競技②

随時 クラブ員募集中!!



【お知らせ】

令和6年10月から「枕崎市バレーボールクラブ」(学校部活動地域移行)がスタートしています。

令和7年9月まで枕崎市学校部活動地域移行モデル競技②として様々な課題について検証を行い、できる限り早期に「休日」のみクラブ活動として活動できるように研究を進めます。

市内の多くの生徒が、このクラブ活動に参加してくれることを期待しています。まずは、見学に来てみませんか。お待ちしております。

初心者も大歓迎!!

募集期間：令和6年11月11日(月)～11月22日(金)

※ 募集期間は設けてありますが、期間が過ぎても申込は可能です。

また、クラブ活動の見学は可能です。見学後に検討をしてクラブへの申込を決めても結構です。

参加者：枕崎市内の中学生全員を対象としています。バレーボール部活動に加入している生徒、バレーボール部活動に加入していない生徒や初心者も大歓迎です。

活動日：毎週土・日のいずれか1回(3時間)
11月24日(日)、12月8日(日)

時間：8:00～11:00(3時間)

活動場所：立神中学校体育館

※ 活動場所を変更することがあります。

その他：スポーツ安全保険や各人で個人賠償責任保険等に加入して参加すること。

※ 詳しいことは、各学校顧問の先生か枕崎市教育委員会学校教育課保健体育係にお問い合わせください。

【問合せ先】

枕崎中学校 0993-72-1235
桜山中学校 0993-72-0304
別府中学校 0993-76-2021
立神中学校 0993-72-6888

枕崎市教育委員会学校教育課保健体育係
枕崎市中央町184 0993-76-1243
担当 遠矢・濱田



男女問わず、バレーボールを楽しみましょう!!

【募集チラシ「枕崎市バレーボールクラブ」】

枕崎市ソフトテニス

市内合同部活動クラブ員募集!!

〔枕崎市学校部活動地域連携(地域移行)公認クラブ活動〕



初心者も大歓迎

【お知らせ】

枕崎市では、学校部活動を地域のクラブ活動として活動できるように地域連携(地域移行)を進めています。

ソフトテニス競技においても、今後生徒の活動が持続可能な活動となるために、地域と連携したクラブ活動に移行していきます。

経験者も初心者も大歓迎です。随時、クラブ員を募集していますので応募してください。

練習日程や場所等については、下記をご覧ください。

今回は、休日の枕崎市ソフトテニス合同部活動クラブ活動として、令和7年2月からスタートするために準備を進めています。

枕崎市ソフトテニス合同部活動クラブ活動

参加者：市内の中学生全員対象

練習曜日：毎週土曜日のみ
開始月日 令和7年2月1日(土) 2月15日(土)
※その後の計画については、指導者より連絡があります。

練習時間：8:30～11:30 3時間

練習場所：枕崎市庭球場 場合によっては、各中学校の施設を使用します。

参加費用：今年度中は、必要ありません。

指導者：平野 芳樹先生(立神中学校職員)

保険料：各自、保険会社の任意の保険に加入
若しくは、800円で「スポーツ安全協会」(4名以上で加入)に加入する。
※ 確実に保険に加入していない場合、活動に参加できませんので、何れかの保険に加入をお願いします。

連絡先：枕崎市教育委員会学校教育課保健体育係
担当：遠矢・濱田
枕崎市中央町184 電話 0993-76-1243



【募集チラシ「ソフトテニス合同部活動クラブ」】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【枕崎卓球クラブ活動風景】



【枕崎卓球クラブ活動風景】



【枕崎市バレーボールクラブ活動風景】



【枕崎市バレーボールクラブ活動風景】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【枕崎市地域部活動推進協議会】



【バトミントン協会との検討会】



【中学校PTA総会での説明】



【ソフトテニス部の移行に係る保護者説明会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年2月

(1)枕崎市部活動地域移行推進協議会

令和5年5月

(2)実施モデル①の実施に向けた準備

令和5年10月

(3)実施モデル①「枕崎卓球クラブ」の活動

令和6年5月

(4)実施モデル②の実施に向けた準備

令和6年10月

(5)実施モデル②「枕崎市バレーボールクラブ」の活動

(6)令和7年度以降の具体的な取組に係る検討

(1) 令和4年2月

令和4年度第1回枕崎市地域部活動推進協議会の実施

【会議内容】

- ・ 令和5年11月から実施モデル①を設置し、地域移行における課題を検証していくことを確認する。
- ・ 実施モデル①について、指導者の確保を考慮し、実施競技を検討していく。

(2) 令和5年5月

実施モデル①「枕崎卓球クラブ」の実施に向けた準備

【会議内容】

- ・ 枕崎市地域部活動推進協議会において、実施競技及び指導者等について検討し、確認する。
- ・ 学校（管理職、顧問）や保護者向けの説明会を実施する。

(3) 令和5年10月

実施モデル①「枕崎卓球クラブ」の活動

【内容】

日時：土曜日 8：30～11：30

土曜授業 13：30～16：30

場所：枕崎市総合体育館 卓球場

参加者：市内3中学校

（枕崎中、桜山中、別府中）

移動：徒歩及び自転車、保護者による送迎

(1) 令和6年5月

実施モデル②「枕崎市バレーボールクラブ」の実施に向けた準備

【会議内容】

- ・ 枕崎市地域部活動推進協議会において、実施競技及び指導者等について検討し、確認する。
- ・ 学校（管理職、顧問）や保護者向けの説明会を実施する。

(5) 令和6年10月

実施モデル②「枕崎市バレーボールクラブ」の活動

【内容】

日時：日曜日 8：00～11：00

場所：枕崎市立立神中学校 体育館

参加者：市内4中学校

（枕崎中、桜山中、別府中、立神中）

移動：徒歩及び保護者による送迎

(6) 令和6年10月～

令和7年以降の具体的な取組に係る検討

【会議内容】

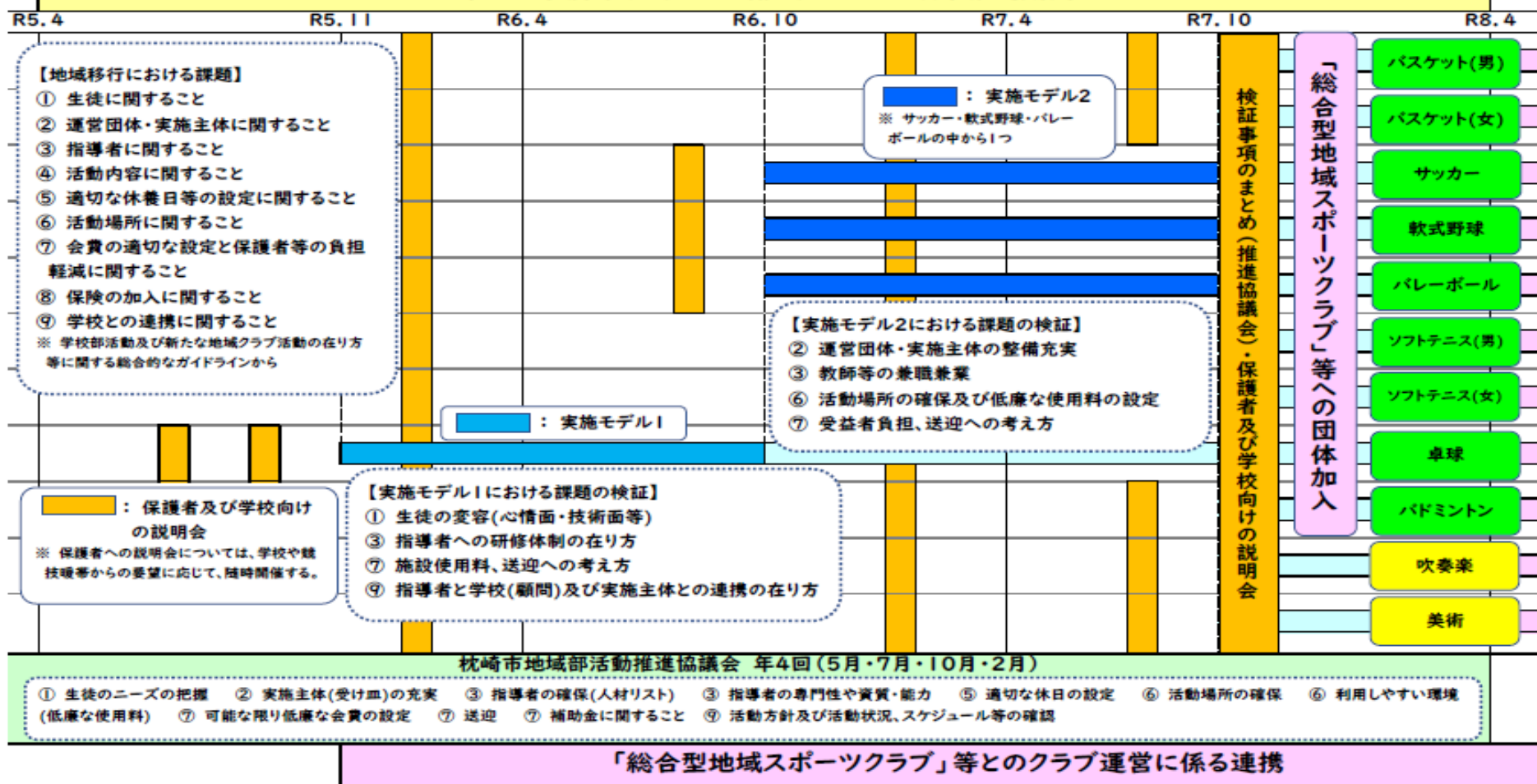
- ・ 実施モデル以外の学校部活動の地域移行について
- ・ 総合型地域スポーツクラブ「きばらん海クラブ」との連携の在り方について
- ・ 「枕崎市地域（公認）クラブ」の認定制度について

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

休日の学校部活動の地域移行に係るロードマップ

休日の学校部活動の地域移行に向けた改革推進期間



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

鹿児島県 出水市

自治体名：鹿児島県出水市

担当課名：教育委員会学校教育課

電話番号：0996-63-4079

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	330.1 km ²
人口	5.145 万人
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	1,477 人
部活動数	56 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	出水市部活動の地域移行等に関する推進協議会 R5.8.28設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	休日における学校部活動の地域移行に関する方針 R5.8.28施行

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

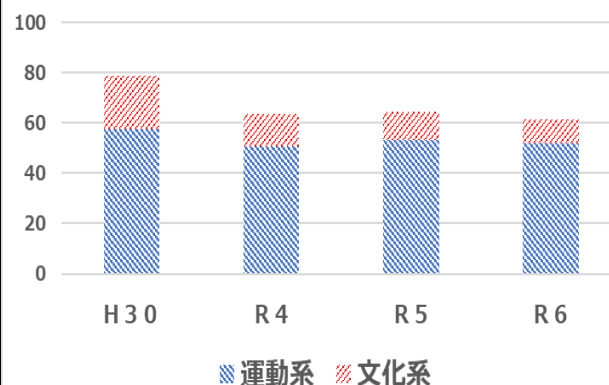
・本市には市立の中学校6校と義務教育学校1校あり、部活動への加入率は、平成30年度時点では7割強であったが、その後徐々に低下し、直近3か年では6割弱で推移している。また、活動系統としては運動系が5割強を維持しているものの、文化系については1割を下回る状況まで落ち込んできている。

・少子化の影響もあり、軟式野球やサッカー、バレーボールなど、これまで部員数が多かった種目でも、単独校でチームを編成できず、近隣校との合同チームでの大会参加や合同練習を行っている状況がある。また、剣道や柔道などにおいて

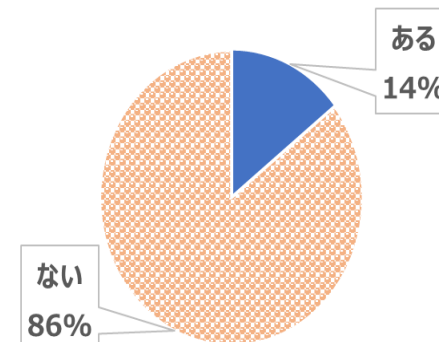
は、団体戦参加時に人数が足りず、不利な条件でしか参加できない。あるいは個人戦のみの大会出場となることもあり、生徒のモチベーションの維持等に苦慮する状況がある。

・令和6年度の部活動顧問のうち6割の教員が専門外種目を担当しており、部活動の地域移行に関する調査において、8割強の者が「地域クラブへの参加を希望しない」と回答するなど、地域の指導者からの指導を望む声があがっている。以上のことから、活動の場の保障や指導の質の維持・向上を目指し、部活動に代わる地域の受け皿の整備が喫緊の課題となっている。

部活動加入率の推移



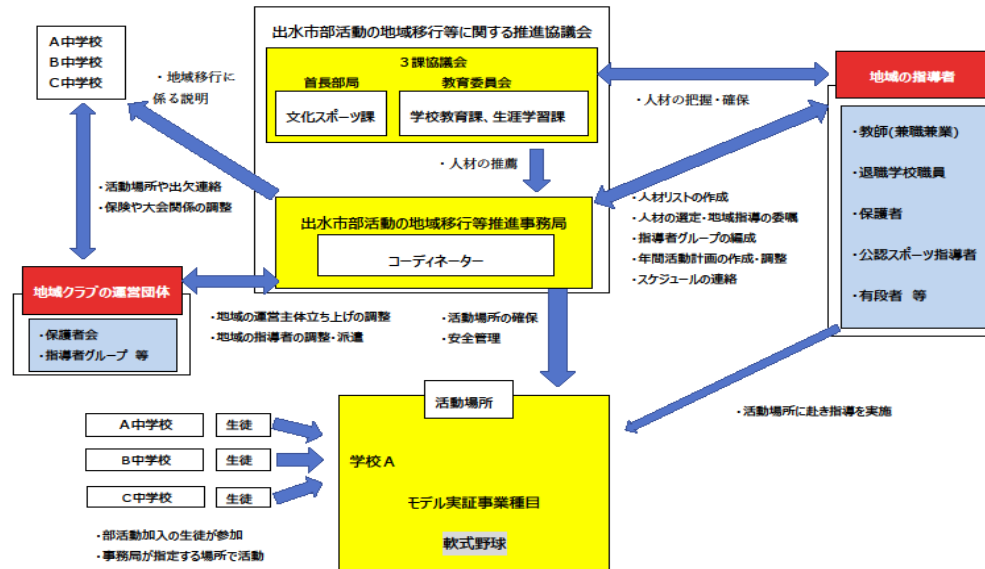
地域の一員として、土日の地域クラブでの指導に協力する意思がありますか？【対象:中学校職員】



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課… 部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項
- ・生涯学習課… 中学生の地域文化・芸術活動の環境整備
文化・芸能に関わる地域の指導者の把握・確保

◎首長部局

- ・文化スポーツ課… 中学生の地域スポーツ及び文化・芸術活動の環境整備
スポーツ及び文化・芸能に関わる地域の指導者の把握

年間の事業スケジュール

令和6年7月	第1回推進協議会の開催
令和6年7月	令和6年度モデル実証事業説明会の実施
令和6年7月	第1回指導者連絡会の開催
令和6年7月	3課協議会の開催
令和6年8月	地域クラブへの参加希望調査の実施(対象:教員、一般)
令和6年8月	地域移行種目に関する調査の実施(対象:校長)
令和6年8月	モデル実証事業で軟式野球クラブの活動開始
令和6年10月	地域クラブへの参加希望調査2の実施(対象:教諭、講師)
令和6年12月	令和7年度モデル事業実証事業説明会の実施
令和6年12月	第2回推進協議会の開催
令和7年1月	指導者研修会の開催
令和7年1月	第2回指導者連絡会の開催
令和7年3月	第3回推進協議会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数(義務教育諸学校含む)	7 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（3 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	5 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
野田高尾野軟式野球クラブ	指導者グループ	軟式野球(新)	月 3 回(土又は日曜日)	午前 9 時から12時まで	12人 (1年6人、2年6人)	令和6年8月から 令和7年3月まで	出水市立野田中学校野球場	5 人	2 人 (内,兼務 0 人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 令和6年9月鹿児島県始良伊佐地区練成会等、大会及び練習試合参加時における県内外チームに対する地域移行モデル実証事業実施に伴う広報
- 「地域全体で育てる」気運の醸成を図る取組
 - ・地元自治会との交流会を通じた地域クラブ活動の広報
 - ・南日本新聞への投稿（黒字カ欄:「住民も鍛える」と題した記事で掲載）

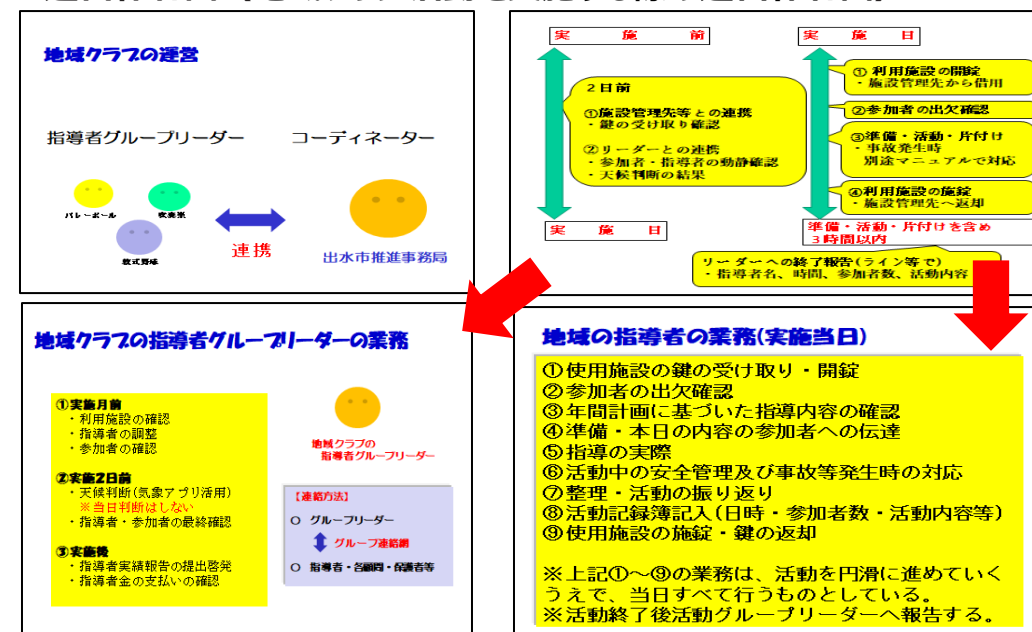
2.実証内容と成果

主な取組例

●野田高尾野軟式野球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球
運営団体名	野田高尾野軟式野球クラブ
期間と日数	軟式野球：令和6年8月3日～令和7年3月22日 月3回程度(土又は日曜日)
指導者の主な属性	地域クラブ指導員(兼職兼業の教員を含む指導者グループ)
活動場所	出水市立野田中学校
主な移動手段	自転車・徒歩・保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	軟式野球：年1,200円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：4,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●指導者グループリーダー

役割：天候判断、指導者の調整及び連絡、指導実績の把握などを行う

●指導者グループサブリーダー 1名

役割：指導者グループリーダー業務の補佐を行う

●指導者 5名(指導者グループリーダー等を含む)

役割：年間指導計画に基づき、輪番(2人一組体制)で生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○広域的な活動を行うコーディネーターを1名配置し、関係団体・市町村との連絡調整・指導助言等を行う。

○運営団体や実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

○参加者管理、参加者・指導者への連絡、会場の確保・調整等にICTを活用。

取組の成果

○教育委員会内の地域移行等推進事務局にコーディネーターを配置したことにより、庁内関係課や学校、関係団体等との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

○チームに関係する外部指導者や兼職兼業の許可を得た教員で構成する指導者グループが運営団体になることで、生徒や保護者等との連絡調整等を円滑に行うことができた。また、指導者グループが実施主体も兼ねることで、生徒や保護者からも「指導に対する不安がなかった。」といった声があるなど、生徒と指導者との望ましい関係の構築につなげることができた。

○運営団体単位で、これまで活用していたメッセージングアプリを生かした連絡体制としたことで、新たな経費負担の抑制、指導者・参加者間での円滑な連絡につなげることができた。



コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・地域クラブの指導者グループリーダーと定期的に連絡し、課題等のヒアリング・助言等を実施した。
- ・推進協議会や指導者連絡会等を実施し、関係団体等との連携に努めた。
- ・中学校、地域の指導者への連絡調整を実施した。

今後の課題と対応方針

- 総合型スポーツクラブ等が少ないため、今後、都道府県が示した地域スポーツクラブ活動の要件等を踏まえ、地域の受け皿となる運営団体を種目ごとに編成していく必要があると考える。
- コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、種目ごとに地域クラブの運営を担う責任者等の発掘・育成・資質向上を図る方策の検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・令和6年9月に意向調査を実施し、指導者の確保に努める。
- ・指導者の資格に関する基準及び選定方法を明確にし、質の高い指導者の確保に努める。
- ・指導者に対して、資質向上のための年1回の研修、年2回の指導者連絡会を開催する。

人材バンクの人数

68名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	13名
30代	8名
40代	22名
50代	18名
60代以上	7名

登録者属性

職業

- ・学校職員 50名
- ・会社員 8名
- ・自営業 4名
- ・主婦 2名
- ・無職 4名

人材バンクを知った理由

- ・意向調査 100%

種目

- ・バスケットボール
- ・バレーボール
- ・弓道
- ・野球
- ・陸上競技
- ・サッカー
- ・剣道
- ・硬式テニス など

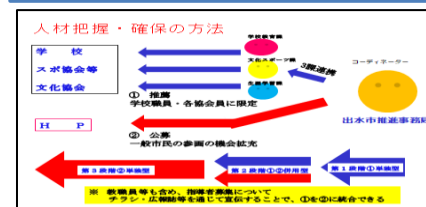
資格有無

- ・地域クラブ指導員
- ・日本体育協会公認陸上競技指導員取得者
- ・JFL公認コーチ資格取得者
- ・日本傳講道館柔道段位取得者 など

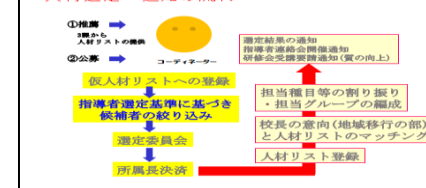
取組の成果

- ・学校、社会教育関連登録団体等を所管する部署が連携し、意向調査や選定を通して、豊かな資質・能力等を有する人材の確保ができた。
- ・指導者の資格に指導者研修受講の義務付け、悉皆による指導者連絡会の実施により、指導者の質の保障につなげることができた。
- ・教員も兼職兼業届を提出し、地域の一員として参画できる体制を整備したことで、モチベーションの維持・向上につなげることができた。また、輪番制による指導体制にしたことで、休日における指導機会の縮減が図られた。
- ・人材バンクの中から地域クラブに関わりのある者等を優先して指導者の割振り、指導に当たったことから実態に即した適切な指導ができた。

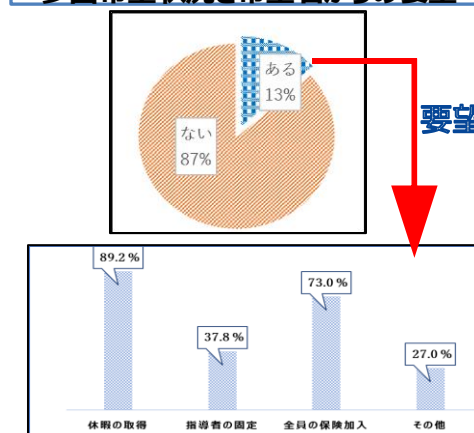
人材確保等の手順



人材選定・通知の流れ



中学校教諭等の地域クラブ活動への参画希望状況と希望者からの要望



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【指導者研修会】

- ・対象：令和6年度モデル実証事業の地域クラブ指導員
地域クラブ活動への参画希望者(学校職員、外部指導者)
出水市内中学校の部活動顧問
- ・目的：心身の発達の途上にある子どもたちを指導する者については、これまでの部活動の教育的意義や役割を継承・発展させるなど、専門的で質の高い指導が求められていることから、講義や実技を通して、指導者の資質向上を図る目的で実施する。
- ・工夫した点：地域クラブ活動にかかわらず、学校現場でもすぐに実践できるシンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーションを通して、生徒との良好な関係づくりに役立つ内容とした。

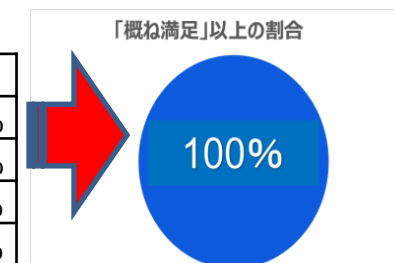
指導者研修の参加実績

- ・開催日： 令和7年1月16日(木)
- ・開催回数： 年1回
- ・参加人数： 26人
- ・講師・内容：(財)日本ペップトーク普及協会認定講師
子どものやる気と未来を育む「言葉の力」(ペップトーク)
ペップトークとは、日本を代表するアスレチックトレーナーがスポーツ現場で学んだ「勇気を与える感動のスピーチ」を、自分、家族、仲間に伝えるコミュニケーションスキルとして確立したものである。

受講者の声

参加者アンケート結果(抜粋)

今回の研修内容に対する参加者の受け止め	
大いに満足できるものであった	88.9%
概ね満足できるものであった	11.1%
あまり満足するものでなかった	0.0%
満足できなかった	0.0%



参加者の声

「なるほど！と共感できる内容が多く、即実行できると感じました。」
「ペップトークは、スポーツと強い結びつきがあり勉強になりました。早速、やる気を引き出すポジティブな声掛けをしていきたいと思いました。」
「今までの自分の行動を振り返ることができ、明日からでも生徒と一緒にできる内容でした。」

今後の課題と対応方針

地域の指導者は、研修への参加を必須としているが、本年度の地域クラブ活動が一部の種目での実施ということもあり、地域人材バンクに登録している者の参加が3割程度だったことから、研修会の実施時期の見直しや地域クラブでの活動実施種目を拡充していく必要がある。

○部活動と地域クラブにおける指導の一貫性を確保する観点から、指導者間の効率的・効果的な連携方策について検討する必要がある。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

部活動を取り巻く環境として、中学校の教員においては、専門外の種目を担当する者や遠方からの通勤者が多く、専門性の高い地域の指導者からの指導を望む声がある。また、部活動加入の生徒においては、部活動のほかに学校施設を利用した社会体育サークルや民間クラブ等での活動に参加し、さらにスキルアップを図る者も多いる。

いずみらしい部活動の地域移行としていくうえで現状を十分踏まえ、活動の場の保障、教育の質の向上をテーマとし、令和6年度では部活動に代わる地域の受け皿となる運営団体や地域クラブの立ち上げ方、豊かな資質・能力を有する指導者の確保と指導者グループの編成の在り方について検証したところ、持続性のある体制整備等につながる一定の成果が得られ、今後の取組における方向性が明確になった。

また、部活動の地域移行に関する取組のほかに、新たなNPOの設立、部活動と社会体育活動サークルの融合、競技団体による合同練習会の企画など、地域の主体的な動きがあり、地域全体で子どもたちを育てようとする気運の高まりがみられつつある。

●成果の評価

○運営団体・運営主体については、人材バンクから地域クラブに関係する者等で構成したことで、部活動の指導方針等を継承しつつ、生徒や保護者との良好な関係の構築につなげることができた。特に、地域クラブ活動での指導に対する満足度については、事後アンケートでは「概ね満足」以上と回答した生徒や保護者が約9割であった。

○指導体制については、2人1組の輪番制としたことで、休日における一人当たりの指導の頻度が月1、2回程度となり、指導者の負担軽減にもつなげることができた。

○地域の指導者については、学校や社会教育等登録団体等を所管する部署が連携したしくみ(把握・確保・選定)にしたことで、心身の発達の途上にある子どもたちへの指導に適した豊かな資質・能力を有する者を確保することができた。

○教員も兼職兼業届を提出し、地域の一員として参画できるしくみを整備したことで、モチベーションの維持・向上につなげることができた。

●今後に向けて

○地域クラブ活動での実施が一部の種目に留まっているため、校長の意向や地域の指導者の確保の状況を踏まえ、地域の実情に即した持続可能な地域クラブの立ち上げ方について検証する。

○関係団体の所管課が連携して豊かな資質・能力を有する地域の人材の確保により一層努めつつ、心身の発達の途上にある生徒への適切な指導がなされるよう、地域クラブと実施主体となる指導者グループのマッチングの在り方について検証する。

○地域移行種目の拡充、スポーツ協会や文化協会等とも連携した取組の企画・実施など、生徒にとって望ましいスポーツや文化・芸能環境の整備に一層努める。

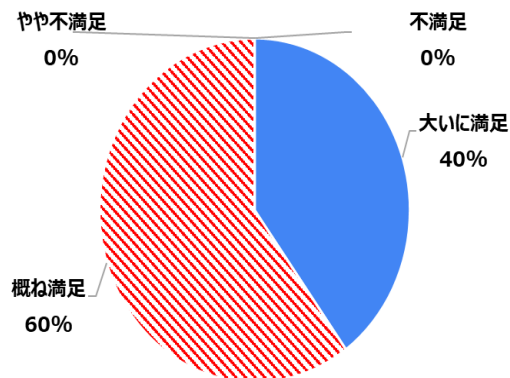
2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

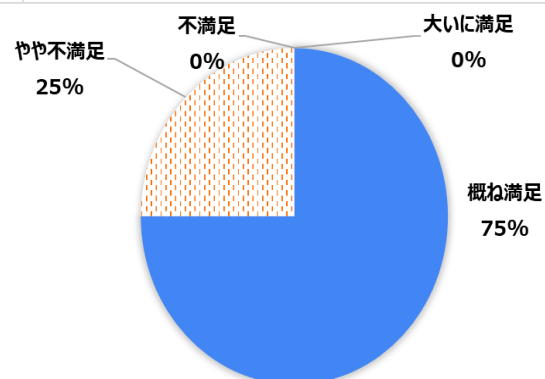
Q.地域クラブ活動に対する満足度？

生徒の声



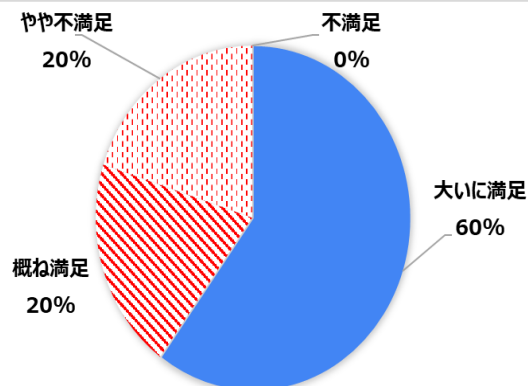
Q.地域クラブ活動に対する満足度？

保護者の声

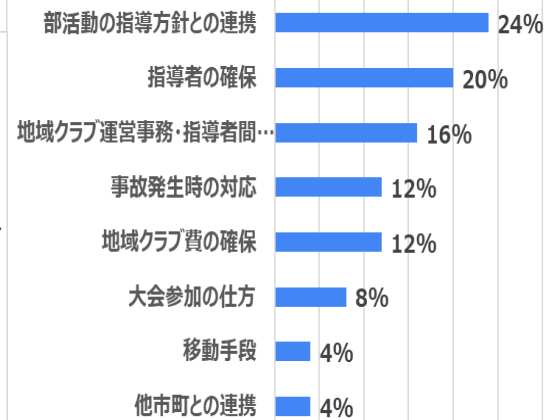


Q.地域クラブ活動に対する満足度？

指導者の声



Q.地域クラブ活動での課題？



●参加者の声

中学2年生

地域クラブでは、わからない所や間違えてるところ、新しい練習方法など、いろいろな指導者から教えてもらい、その結果として出水地区新人大会ではいい結果を出すことができたので大いに満足しています。

保護者

子どもたちの体力向上や他家族との交流、地域との連携を図ることができるので、地域クラブ活動での指導に大いに満足しています。欲を言えば、いろいろな人に教えてもらえるのはありがたいが練習日が少なかったので増やしてほしい。

指導者

野球部として頑張っている生徒の補助ができ、やりがいを感じることができました。また、複数の指導者がいることで様々な角度から生徒を見ることができ、公式戦初勝利を収めることができた。

指導者

指導者の確保は喫緊の課題であり、持続可能な地域クラブ活動にしていくために、より多くの地域の方々を巻き込んでいく必要があると考えます。私も微力ながらお手伝いできればと思っています。

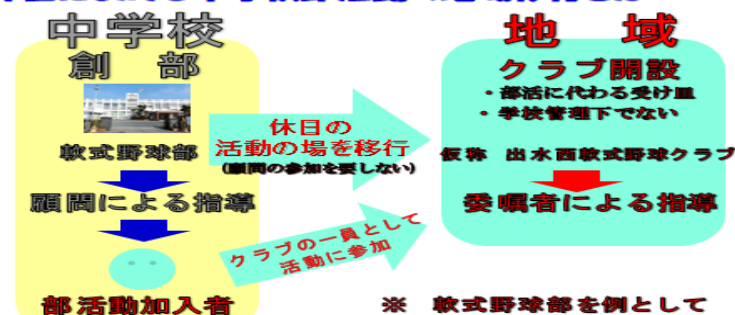
2.実証内容と成果③

参考資料（生徒・保護者、指導者連絡会で使用した資料の抜粋）

・部活動の地域移行等に関し、具体的なイメージがもてないことから不安を抱くケースがあるため、モデル事業実施に当たり、説明用資料を作成し、部活動地域クラブの違いなど、何が変わり、これからどうしていくのか具体的に説明し理解を図ることができた。

また、地域クラブを担当する指導者への不安を抱くこともあることから、委嘱する地域の指導者の選定基準や留意事項についても、資料に基づき具体的に説明することにより、安心して地域クラブでの活動に参加したいとする声があった。また、指導者についても理解が図られた。

休日における中学校部活動の地域移行とは



モデル事業の具体的な内容について

① 名 称	① 出水西軟式野球クラブ(野田中・江内中・高尾野中)
② 活動期間	② R6.8～R7.3の休日(土又は日)
③ 活動場所	③ 野田野球場等
④ 指導者	④ 指導者グループ(教員及び外部指導者)
⑤ 送迎等	⑤ 各家庭で対応
⑥ 保 険	⑥ スポーツ安全保険 ・部活動とは別途加入 ・けが等の保障は加入保険の範囲内 ・部費等から(保護者の負担はこれまでどおり) ※ 保護者の負担が増えないようにする
⑦ 活動内容	⑦ 年間計画に基づく内容(大会参加も含む) ・活動時間は3時間以内 ・大会参加については地域クラブとして参加

【生徒・保護者への説明用チラシ1】
(地域移行とは、モデル事業の実際とは)

地域の指導者の資格

以下の項目全てに該当する者を原則とする。

- ① 当該種目等の技術指導に堪能で、20歳以上の社会人で、校長又は競技団体等から、指導者としてふさわしい人格を有していると判断した者
- ② 原則、出水市内に在住又は在勤している者
- ③ 毎年、指導者研修会に参加している者

地域クラブでの指導に当たって

- ① 部活動の指導者は体罰等によらない指導を徹底する。
 - ・体罰(暴力)やハラスメントは、いかなる場合も行わない。
 - ・生徒、保護者等の信頼を損ねるような行為は行わない。
- ② 活動中の事故や熱中症を防ぐために、体力や健康状態練習内容、環境条件を考慮して、活動を行う。
 - ・生徒の心身の健康管理に努める。
 - ・事故防止に努める。
 - ・効果的・効率的なトレーニングも取り入れる。
- ③ ①に該当する事案が発生した場合は、事実確認のうえ、委嘱の取り消し等も検討する。

【生徒・保護者等への説明用チラシ2】
(地域の指導者の資格とは、指導に当たって)

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【拠点施設集合型ブロック別(軟式野球)の活動風景】
出水地区新人大会



【拠点施設集合型ブロック別(軟式野球)の活動風景】
地元自治会との交流会



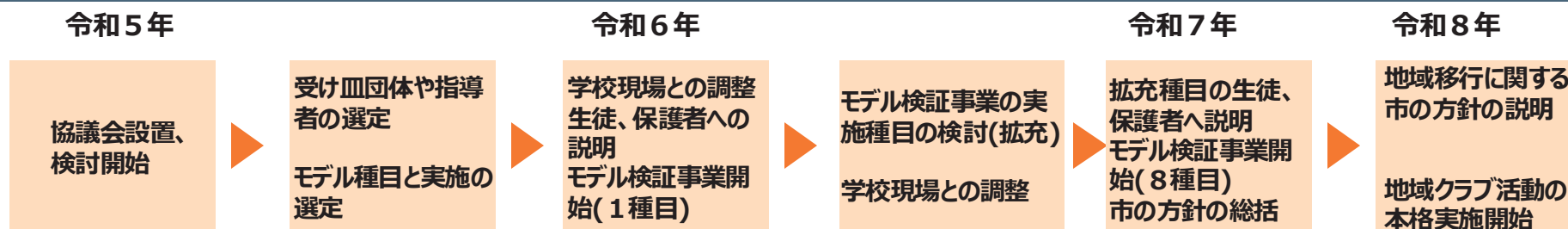
【地域の指導者研修会の風景】



【軟式野球クラブの指導者連絡会の風景】
(拠点施設集合型ブロック別)

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー(協議会構成員)

学校、スポーツ協会、文化協会、PTA連合会
市長部局、市教委、コーディネーター

●経過

令和5年7月に、中学校部活動地域移行準備会を実施し、協議会の設置、地域移行に向けたロードマップ等を検討した。同年8月に出水市部活動の地域移行等に関する推進協議会を設置し、地域移行等の方針やモデル事業実施要項の確認、令和6年度モデル実証事業種目を検討した。

令和6年8月に、コーディネーターを教育委員会学校教育課内の地域移行推進事務局に配置し、モデル検証事業の成果と課題のとりまとめ、人材リストの整理、令和7年度モデル検証種目の選定等を進めた。

●実施内容

令和6年8月から3中学校の3部活動において、月3回の休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する試験的な取組を開始した。地域クラブ活動は全1クラブで、3つの中学校の生徒が参加する形態である。

●実施にあたって生じた課題

種目に即した指導方法があることから、指導者の配置人数に関わる基準を一律に設けるのは難しいことを指摘された。競技種目の特性や活動中の安全管理の観点から、協議会で令和6年度から検討している。また、種目によっては指導者の不足、指導者の資質・能力が大きな課題として指摘されている。学校、社会教育関係登録団体等を所管する部署間で連携した取組を検討している。

●実施内容、工夫した点等

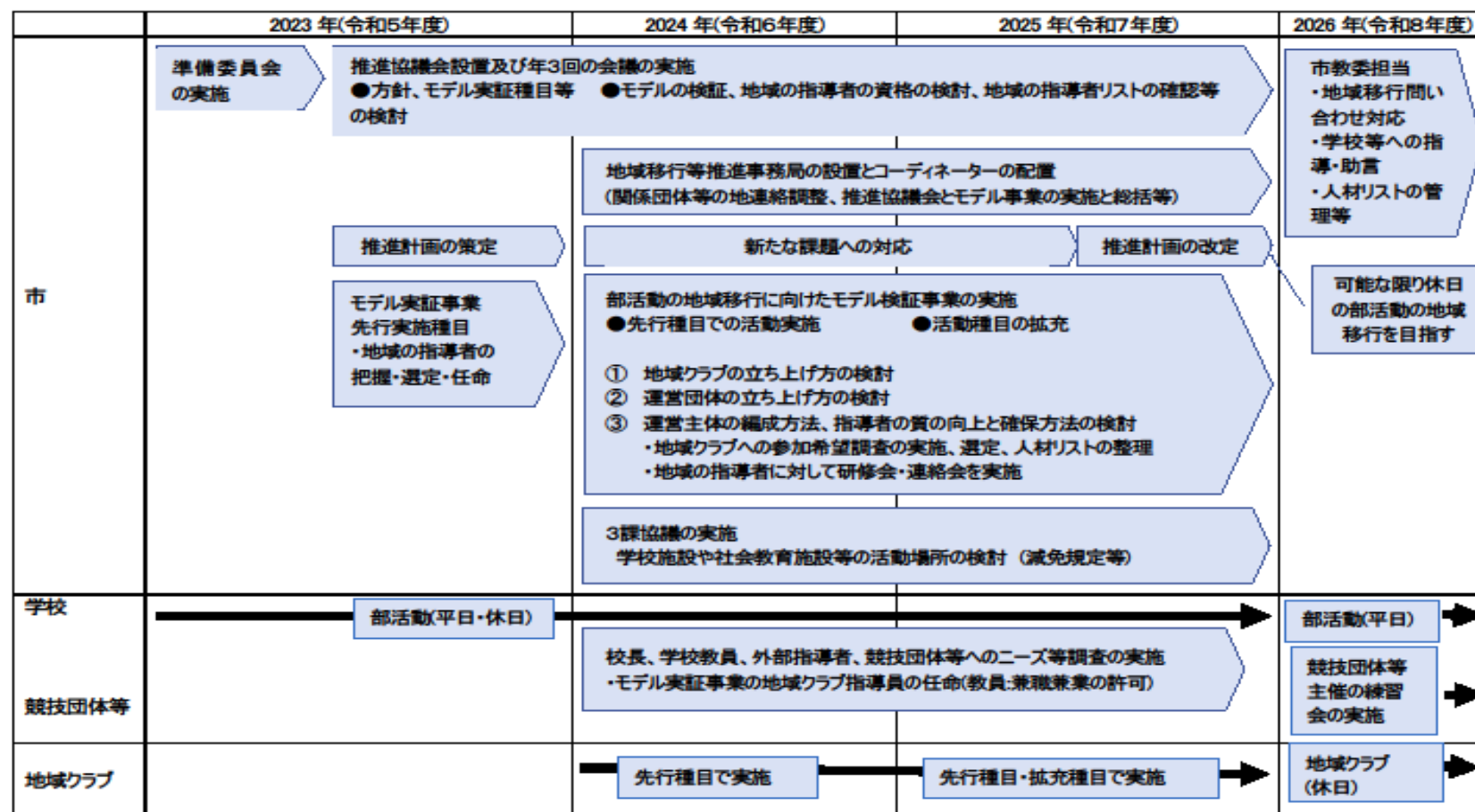
地域移行等の方針やモデル事業実施要項の確認等を実施した。関係者の理解を図るため、検討事項の明確化と資料の事前配布に努めた。

●今後の展開

令和7年度には、1地域クラブにおいて令和6年度からの継続実施を含め、8月から3中学校7部活動において、休日の地域クラブ活動を月3回程度実施する。また、持続可能な地域クラブとするために、運営団体の立ち上げや実施主体の編成について検証し、休日における可能な限り部活動の地域移行を進める。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

鹿児島県 薩摩川内市

自治体名：鹿児島県薩摩川内市

担当課名：学校教育課

電話番号：0996-23-5111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	682.92 km ²
人口	90,994 人
公立中学校数 (義務教育学校後 期課程含む)	11 校
公立中学校生徒数	2,616 人
部活動数 (運動部、文化部)	95 部活
市区町村の協 議会・検討会議 等の設置状況	設置済
市区町村の推進 計画・ガイドライン 等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市では、令和3年度からこれまで学校の教職員が担ってきた土日や祝日の部活動の指導を、地域の指導者に担ってもらう「休日の部活動の地域移行」事業の取組を推進している。

主な取組内容は、人材バンクの設立及び地域指導者の派遣、「川内スポーツクラブ01」を運営主体とした事業展開、「休日における部活動の地域移行推進会議」の実施、地域指導者研修会の実施、困窮世帯への支援等である。

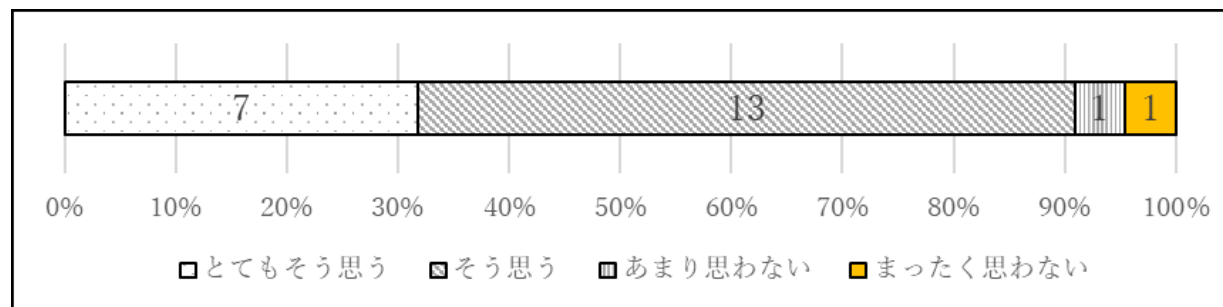
取組の成果として、休日に地域指導者が携わることによって、時間外勤務が改善されたと回答した教職員は90%であり、顧問教職員の時間

外勤務の改善が図られている。

また、地域指導者の専門的な指導により、技術が向上していると回答した生徒の割合が90%を超えており、地域指導者の専門性が生かされている。課題としては、令和8年度からの改革実行期間へ向けて、事業の幅広い周知と地域人材の活用推進を図る必要がある。また、費用負担の在り方において、受益者負担をどのように取り扱っていくのか、その在り方について検討していく必要がある。今後、地域展開を推進するため生徒、保護者、教職員等の声を聞きながら体制を構築していきたい。

●地域指導者を派遣している部活動顧問に対するアンケート調査（R6.10）

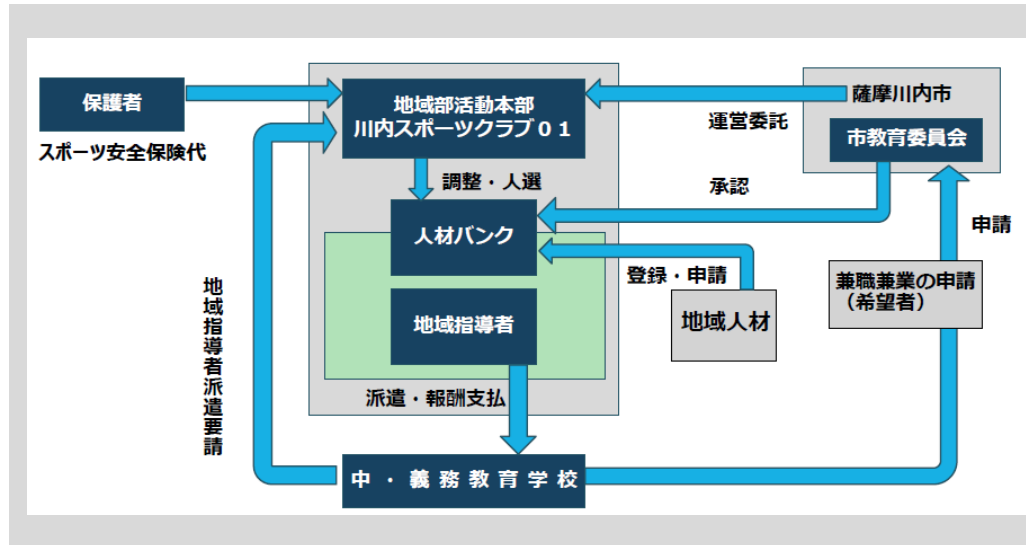
Q 休日に地域指導者が指導に携わることによって、時間外勤務が改善された。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・運営主体となる「川内スポーツクラブ01」との連携・サポート
- ・希望する教職員の兼職兼業の受理・承認

◎首長部局

- ・運営主体となる「川内スポーツクラブ01」に運営委託

年間の事業スケジュール

令和6年4月	運営主体との委託契約 地域指導者辞令交付
令和6年5月	第1回「休日における部活動の地域移行」推進会議
令和6年9月	第1回地域指導者研修会
令和6年10月	第1回意識調査（教職員、生徒、地域指導者） 第2回「休日における部活動の地域移行」推進会議
令和6年12月	第2回意識調査（児童生徒、保護者） 第2回地域指導者研修会
令和7年2月	第3回「休日における部活動の地域移行」推進会議 事業完了報告書、成果報告書等の完成

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	11校	実施した地域クラブ総数	20クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		20クラブ（20部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		なし
全体の指導者数	24人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
入来中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	サッカー 野球 バレー ソフトテニス 剣道（新）	月4回	9:00～12:00	1年：21人 2年：24人 3年：22人	R6.5.1～R7.2.16	入来中学校グラウンド 体育館	5人	5人 （内、兼務5人）	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
川内北中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	女子卓球（新） 柔道（新）	月4回	9:00～12:00	1年：10人 2年：12人 3年：13人	R6.5.1～R7.2.16	川内北中学校体育館 武道場	2人	5人 （内、兼務5人）	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
樋脇中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	サッカー ホッケー	月4回	9:00～12:00	1年：13人 2年：14人 3年：16人	R6.5.1～R7.2.16	樋脇中学校グラウンド 樋脇屋外人工芝競技場	5人	5人 （内、兼務5人）	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
川内中央中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	女子バスケット 男子バレー 柔道	月 4 回	9:00 ～ 12:00	1年: 11人 2年: 10人 3年: 10人	R6.5.1 ～ R 7.2.16	川内中央 中学校 グラウンド 体育館 武道館	4 人	5 人 (内、兼務 5 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
川内南中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	サッカー	月 4 回	9:00 ～ 12:00	1年: 5 人 2年: 10人 3年: 7 人	R6.5.1 ～ R 7.2.16	川内南中 学校 グラウンド	1 人	3 人 (内、兼務 3 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
水引中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	男子ソフトテニス	月 4 回	9:00 ～ 12:00	1年: 2 人 2年: 4 人 3年: 4 人	R6.5.1 ～ R 7.2.16	水引中 学校 グラウンド	1 人	3 人 (内、兼務 3 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
平成中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	サッカー	月 4 回	9:00 ～ 12:00	1年: 2 人 2年: 2 人 3年: 3 人	R6.5.1 ～ R 7.2.16	平成中 学校 グラウンド	1 人	3 人 (内、兼務 3 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
東郷学園義務教育学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	女子バスケット	月 4 回	9:00 ～ 12:00	1年: 2 人 2年: 3 人 3年: 2 人	R6.5.1 ～ R 7.2.16	東郷学 園 義務教育 学校 体育館	1 人	3 人 (内、兼務 3 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
祁答院中学校クラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	女子バレー 剣道	月 4 回	9:00 ～ 12:00	1年: 3 人 2年: 4 人 3年: 2 人	R6.5.1 ～ R 7.2.16	祁答院中 学校 体育館 武道館	2 人	4 人 (内、兼務 4 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
里中学校クラブ	総合型 地域スポーツクラブ運営型	卓球	月 4 回	9 : 00 ～ 12 : 00	1年 : 4 人 2年 : 4 人 3年 : 6 人	R6.5.1～ R7.2.16	里中学校 体育館	1 人	3 人 (内、兼務 3 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動
海星中学校クラブ	総合型 地域スポーツクラブ運営型	男子バレー	月 4 回	9 : 00 ～ 12 : 00	1年 : 1 人 2年 : 2 人 3年 : 2 人	R6.5.1 ～ R7.2.16	海星中学校 体育館	1 人	3 人 (内、兼務 3 人)	800円 ※スポーツ安全保険掛金	部活動

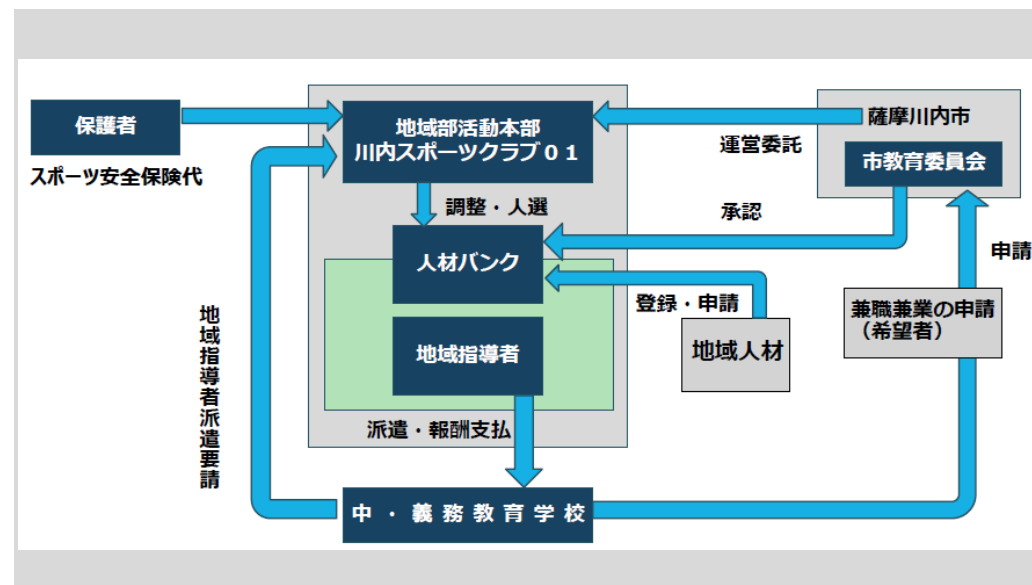
2.実証内容と成果

主な取組例

●入来中学校クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー 女子ソフトテニス 女子バレーボール 野球 剣道
運営団体名	特定非営利法人川内スポーツクラブ01
期間と日数	令和6年5月1日～令和7年2月16日 月4回程度
指導者の主な属性	個別の競技団体に属する指導者
活動場所	入来中学校グラウンド 体育館
主な移動手段	徒歩 自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営実施責任者

- ・本市との連絡調整、学校との連絡調整、地域指導者の指導状況確認
- ・地域指導者の勤務管理、地域指導者の研修、地域指導者、教職員、保護者、生徒の意識調査

●地域指導者

- ・実技の指導、安全及び障害予防に関する知識・技能の指導、活動中に事故が発生した場合の対応、練習計画の作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○年3回、15人の推進委員が参加し、「休日のにおける部活動の推進会議」を開催。

○総合型地域スポーツクラブ「特定非営利法人川内スポーツクラブ01」を運営主体とした事業を展開。

取組の成果

○「休日における部活動の推進会議」において、実施校の取組状況や課題の共通理解と解決策、人材バンク登録促進のための方策、改革実行期間に向けた課題と解決策等について協議し、共通理解を図ることができた。

○「地域指導者の勤務管理」「学校との連絡調整」「地域指導者の指導状況確認」等の業務を、総合型地域スポーツクラブ「特定非営利法人川内スポーツクラブ01」に委託する業務体制を構築することができた。

○定期的に市教育委員会と運営団体との連絡会を開催し、情報共有と連絡調整を行うことができた。

●「休日の部活動の地域移行推進会議」推進委員

・市スポーツ協会長、文化スポーツ課長、社会教育課長、市PTA連合会長、スポーツ推進委員、保護者代表、地域指導者代表、市中体連会長、市校長会長、地域部活動本部事務局長

今後の課題と対応方針

令和8年度以降の改革実行期間を見据え、生徒が主体的に選択できる環境の整備及び地域全体での連携を図ることができる体制づくりが課題である。

令和4年度まで市教委が担ってきた地域部活動本部を、令和5年度から川内スポーツクラブ01に業務委託している。業務内容については、地域指導者の勤務管理、本市との連絡調整等であるが、運営がまだ軌道に乗らない部分がある。事業がスムーズに展開されるよう市教育委員会として適宜サポートしていく必要がある。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・川内スポーツクラブ01と学校の連絡調整
- ・川内スポーツクラブ01と地域指導者をつなぐ
- ・人材バンクの登録者数を増やす取組

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

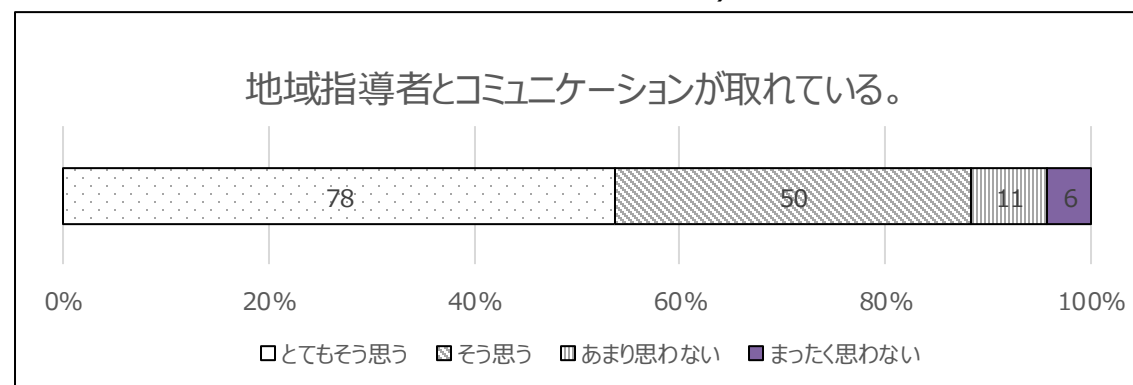
取組事項	人材バンクの人数	種目	資格有無
・令和5年2月に人材バンクを設置し、地域指導者の増員に向け取り組んでいる。	34名	バスケットボール	・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者コーチングアシスタント
・地域指導者が、保護者や関係者と連携し、地域全体で生徒の成長を支える体制を構築することができるよう地域指導者研修会を年2回開催した。	人材バンクの年齢構成 10代 0名 20代 3名 30代 6名 40代 12名 50代 4名 60代以上 9名	サッカー バレーボール ソフトテニス 卓球 軟式野球 柔道 ソフトボール 剣道 陸上 ホッケー	・日本スポーツ協会公認C級コーチ ・日本サッカー協会 指導者ライセンスC級 ・社会体育初級指導員 ・JBA公認D級コーチ ・日本ソフトボール協会公認指導者資格 ・卓球協会公認審判員など

取組の成果

・地域指導者研修会を年間計画に基づき、年2回開催し、体罰・ハラスメントの根絶や事故防止のための安全に配慮した適切な指導の在り方等、研修を深めることができた。

・生徒へのアンケート調査では、「地域指導者とコミュニケーションが取れている」の質問項目に対し「とてもそう思う」と回答した生徒は約54%、「そう思う」と回答した生徒は約35%であり、地域指導者と生徒とのコミュニケーションが図られていることが伺える。

アンケート調査（R6.10）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【第1回指導者研修会】

・対象：市内地域指導者24人

・目的：市ガイドラインの周知

工夫した点：体罰・ハラスメントの根絶に向け、具体例を示しながら研修を深めた。

【第2回指導者研修会】

・対象：市内地域指導者24人

・目的：熱中症やケガ等の緊急時における対応（実技研修）

工夫した点：地域指導者への聞き取りで、指導を行う上で一番不安なことは、ケガ等による緊急時の対応であることが分かった。以上のことを踏まえ、緊急時対応研修（AED研修）を行った。

指導者研修の参加実績

・開催日：

第1回 令和6年9月9日

第2回 令和6年12月16日

・開催回数：2回

・参加人数：28人



受講者の声

・具体例を交えた研修が非常に分かりやすく、体罰やハラスメントの研修について深く理解することができた。

・ガイドラインの周知だけではなく、実際の現場での対応方法について学べたのが良かった。

・緊急時の対応についての実技研修は非常に有益であった。特にAEDの使い方を実際に体験できたのが良かった。

・ケガや熱中症の対応について具体的な指導を受けることで、自信をもって対応できるようになった。

・AEDの使い方を学ぶことで、緊急時に冷静に対応できる自信がついた。

今後の課題と対応方針

1 体罰・ハラスメントの根絶

- ・継続的なフォローアップと評価が必要である。
- ・定期的に研修を開催し、最新の情報や事例を共有する。

2 緊急時の対応の徹底

- ・研修を受けた後も、定期的な復習が必要である。
- ・定期的な実技研修を継続し、緊急時対応のスキルを維持・向上させる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・スポーツ推進委員に対し、説明会を行い、「休日における部活動の地域移行」事業に対するスポーツ推進委員の参画の在り方について情報共有した。
- ・人材バンクの更なる増員及び「休日の部活動の地域移行」事業を広く周知するため、市連携企業協議会や市内企業を訪問した。
- ・「休日における部活動の地域移行推進会議」を年3回開催した。

取組の成果

- ・スポーツ推進委員への説明会を通じて、「休日における部活動の地域移行」事業に対するスポーツ推進委員の参画の在り方について情報共有ができた。
- ・「休日における部活動の地域移行推進会議」において、実施校の取組状況や課題の共通理解と解決策、人材バンク登録促進のための方策、改革実行期間に向けた課題と解決策等について協議し、共通理解を図ることができた。
- 【推進会議で出された主な意見】
- ・地元企業へ本事業をPRしていく必要がある。
- ・文化部の地域指導者の確保が必要である。
- ・複数の地域指導者派遣を検討してほしいなど。



【推進会議だより】

人材バンクへの登録状況（R7.3.1現在）

種 目 名	登 録 者 数	種 目 名	登 録 者 数
ホッケー	6	バスケットボール	2
剣道	6	柔道	2
バレーボール	5	卓球	2
サッカー	4	野球	1
ソフトテニス	3	陸上	1
ソフトボール	2		

今後の課題と対応方針

- ・改革実行期間に向けて、事業の幅広い周知と、地域人材の活用推進を図る必要がある。
- ・より多くの地域指導者を確保するため、今後、地元企業と更なる連携を図り、人材バンクへの登録を促進していく必要がある。
- ・スポーツ推進委員や各競技団体との連携を更に強化していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

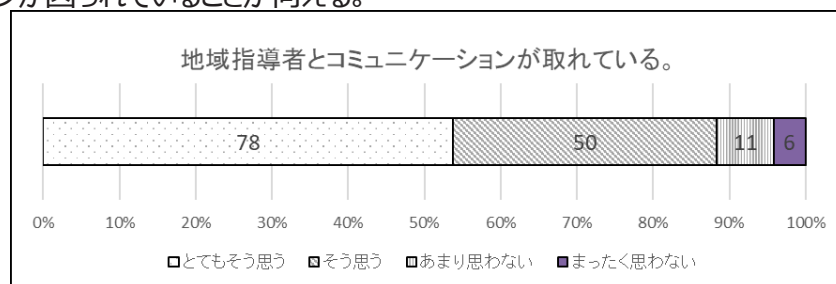
●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

- ・令和5年2月に人材バンクを設置し、地域指導者の確保に努めている。
- ・地域指導者に対して、資質向上のための研修会を、年2回開催した。

取組の成果（イ）

- ・地域指導者研修会を年間計画に基づき、年2回開催し、体罰・ハラスメントの根絶や事故防止のための安全に配慮した適切な指導の在り方等、研修を深めることができた。
- ・生徒へのアンケート調査では、「地域指導者とコミュニケーションが取れている」の質問項目に対し「とてもそう思う」と回答した生徒は約54%、「そう思う」と回答した生徒は約35%であり、地域指導者と生徒とのコミュニケーションが図られていることが伺える。



取組事項（ウ）

- ・スポーツ推進委員に対し、説明会を行い、「休日における部活動の地域移行」事業に対するスポーツ推進委員の参画の在り方について情報共有した。
- ・人材バンクの更なる増員及び「休日の部活動の地域移行」事業を広く周知するため、市連携企業協議会や市内企業を訪問した。
- ・令和6年12月に市内全小学5、6年生及び中学1、2年生の児童生徒・保護者に対しアンケート調査を実施した。「休日の部活動の地域移行」事業について、知らないと回答した保護者が4割以上いることから、事業について更に関係団体と連携を図り、広く周知していく必要がある。

取組の成果（ウ）

- ・スポーツ推進委員への説明会を通じて、「休日における部活動の地域移行」事業に対するスポーツ推進委員の参画の在り方について情報共有ができた。

今後の課題と対応方針

- ・改革実行期間に向けて、事業の幅広い周知と、地域人材の活用推進を図る必要がある。また、より多くの地域指導者を確保するため、今後、地元企業と更なる連携を図り、人材バンクへの登録を促進していく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○地域連携・地域移行の現状

- ・令和3年度から「休日の部活動の地域移行」事業を推進
- ・主な取組は、人材バンクの設立、地域指導者の派遣、推進会議の実施、地域指導者研修会の実施

○運営体制

- ・教育委員会と「川内スポーツクラブ01」が連携し、地域指導者の派遣や研修を実施。
- ・地域指導者の専門的な指導により、生徒の技術向上が見られた。

○成果

- ・休日に地域指導者が携わることで、教職員の時間外勤務の改善された。
- ・生徒の90%以上が地域指導者の指導に満足し、技術向上を感じている。

○課題

- ・令和8年度からの改革実行期間に向けて、事業の周知と地域人材の活用推進が必要である。
- ・費用負担の在り方についての検討が必要である。

●成果の評価

1 教職員の時間外勤務の改善

- ・成果 休日に地域指導者が携わることで、教職員の時間外勤務の改善された。
アンケート結果によると90%以上が時間外勤務の改善を実感している。
- ・評価 地域指導者の導入により、教職員の負担軽減が図られたことは成果である。

2 生徒の技術向上

- ・成果 地域指導者の専門的な指導により、生徒の技術が向上した。アンケート結果では、90%以上が技術向上を感じている。
- ・評価 専門的な指導が生徒の成長に寄与している。

3 コミュニケーションの向上

- ・成果 地域指導者と生徒、顧問、保護者とのコミュニケーションが良好であることが確認された。アンケート結果では、多くの生徒や教職員が、コミュニケーションの向上を実感している。
- ・評価 良好なコミュニケーションが、指導の質向上や生徒の満足度向上につながっている。

●今後に向けて

○事業の周知と地域人材の活用推進

- ・地元企業と連携し、人材バンクへの登録を促進

○関係団体との連携強化

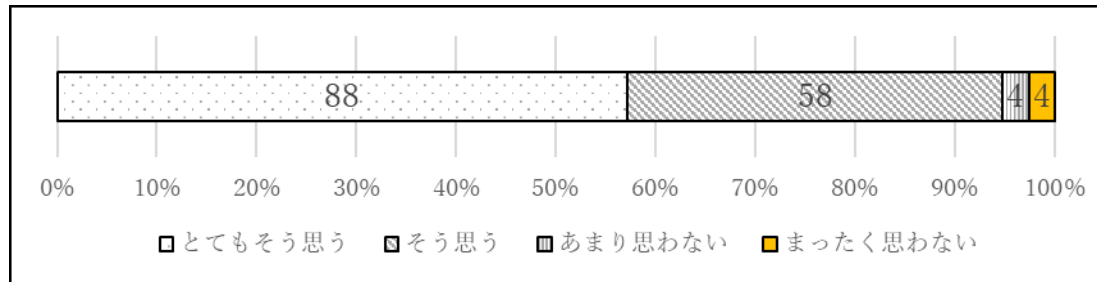
- ・スポーツ推進委員や各競技団体との連携を強化し、部活動の地域移行を促進。

2.実証内容と成果②

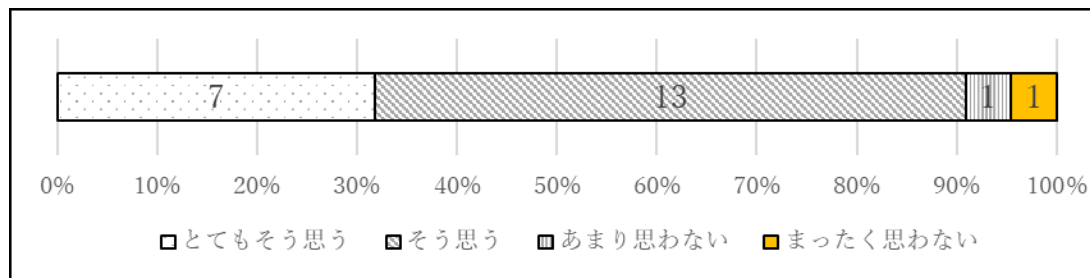
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（Q 1 は生徒、Q 2、Q 3 は部活動顧問が回答。）

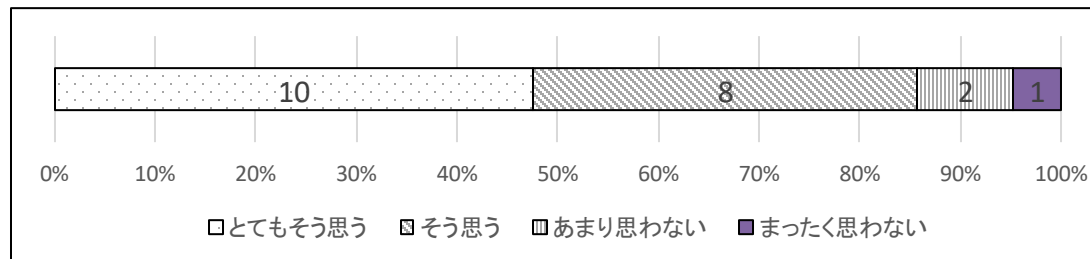
Q 1 地域指導者の指導に満足している。



Q 2 休日に地域指導者が指導に携わることによって、時間外勤務が改善された。



Q 3 地域指導者と連携が図られている。



●参加者の声

生徒A

・地域指導者の指導に満足している。技術の向上も感じている。

生徒B

・自分よりも技術力がある人が来て、分かりやすく教えていただいているので有り難いです。

生徒C

・地域指導者の指導に満足しています。専門的な指導により技術が向上していると感じます。

地域指導者 A

・部活動顧問とのコミュニケーションはよく図られていると感じている。

地域指導者 B

・一人で見るのには限界がある。各チームに複数の地域指導者が必要である。

地域指導者 C

・仕事の合間での指導しているため、仕事がある日は、指導の機会が減ってしまう。

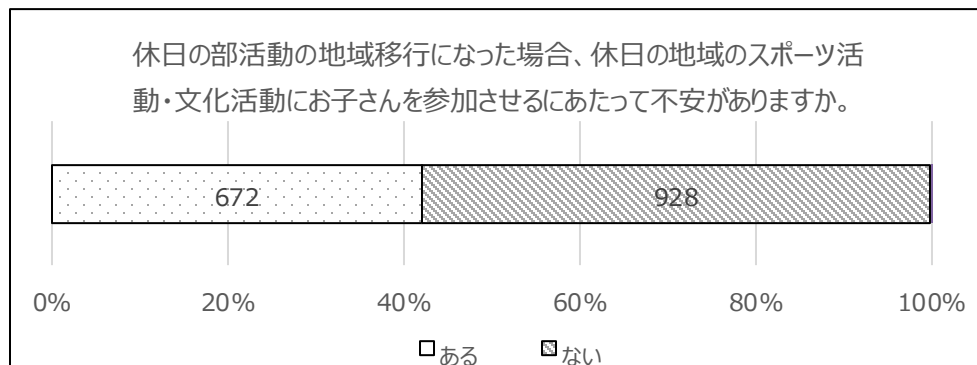
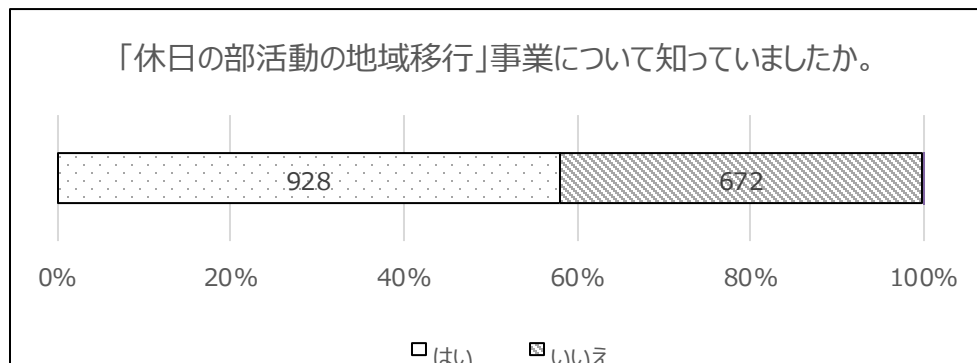
2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

「休日の部活動の地域移行」事業について、知らないと回答した保護者が4割以上いることから、事業について認知度を高める対策が必要である。部活動が地域移行になった場合、休日に子どもを参加させるにあたり、不安を感じる保護者が4割以上である。不安を取り除くための練習見学会

の実施や人材バンク規定等の周知を行う必要がある。

広報については、地域指導者増員に向け、スポーツ少年団及びスポーツ推進委員に対し、地域指導者募集のチラシを配布した。



【アンケート結果】(R6.12実施)

地域指導者募集

薩摩川内市「休日における部活動の地域移行」事業

「部活+」

今後の地域移行をスムーズに進めていくために、「薩摩川内市『休日における部活動の地域移行』事業に係る地域指導者人材バンク」を設立しました。この人材バンクに応募いただいた方を地域指導者として登録し、学校のニーズに応じて配置します。応募に関する詳細は、人材バンク登録要項をご覧ください。

本市では、休日の運動部活動・文化部活動の地域移行を段階的に進めます。

地域指導者は、地域スポーツ・文化活動の指導者です。

種目や活動に関する専門的な知識や技能があり、学校教育に關して十分な理解がある方で、原則、土曜日から日曜日のいずれかで3時間程度、主に以下のことを行います。なお、指導に当たる時間に応じて報酬が支払われます。

①技術指導 ②大会や練習試合の引率 ③学校部活動顧問との連携(引継等)

形態	月	火	水	木	金	土	日
学校顧問							
部活動							
地域スポーツ・文化活動							

学校部活動に【〇〇〇〇】がプラスされてこんなメリットが！

部活+【専門的な指導】＝生徒の意欲や技能の向上、学校のニーズへの対応
 部活+【継続的な指導】＝生徒のスポーツ・文化活動環境が持続可能なものに
 部活+【地域と連携】＝地域におけるスポーツ・文化活動の活性化
 部活+【地域スポーツ・文化活動】＝専門外の教員の負担軽減、学校の業務改善

Q 地域指導者になるための手続きは？

まずは、人材バンクへ登録をします。必ず人材バンク登録要項の内容を必ず確認し、申請書類を市内スポーツクラブ01へ郵送または持参してください。

人材バンク登録要項及び申請書類は、下記お問い合わせ先の窓口で受け取ることができます。

また、「市内スポーツクラブ01ホームページ」からダウンロードすることもできます。

但し、学校のニーズに応じて地域指導者を配置しますので、登録により採用はお約束するものではありません。

令和6年度 各学校の部活動一覧

学校名	サッカー	バスケットボール	バレーボール	ソフトボール	ソフトテニス	卓球	剣道	柔道	新体操	ダンス	吹奏楽	合唱	美術	書道	英語	その他
薩摩川内市立第一中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第二中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第三中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第四中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第五中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第六中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第七中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第八中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第九中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薩摩川内市立第十中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お問い合わせ先

休日の部活動の地域移行について

薩摩川内市教育委員会
 学校教育課指導グループ
 Tel. 0996-23-5111 (代表)
 E shida@city.satsumasendai.lg.jp
 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号

人材バンク登録について

特定非営利活動法人
 川内スポーツクラブ01 (地域型競技スポーツ推進組織)
 Tel. 0996-23-5501
 E info01@sendai01.com
 〒895-0214 薩摩川内市運動公園町3030番地

【地域指導者募集チラシ】

2.実証内容と成果③

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

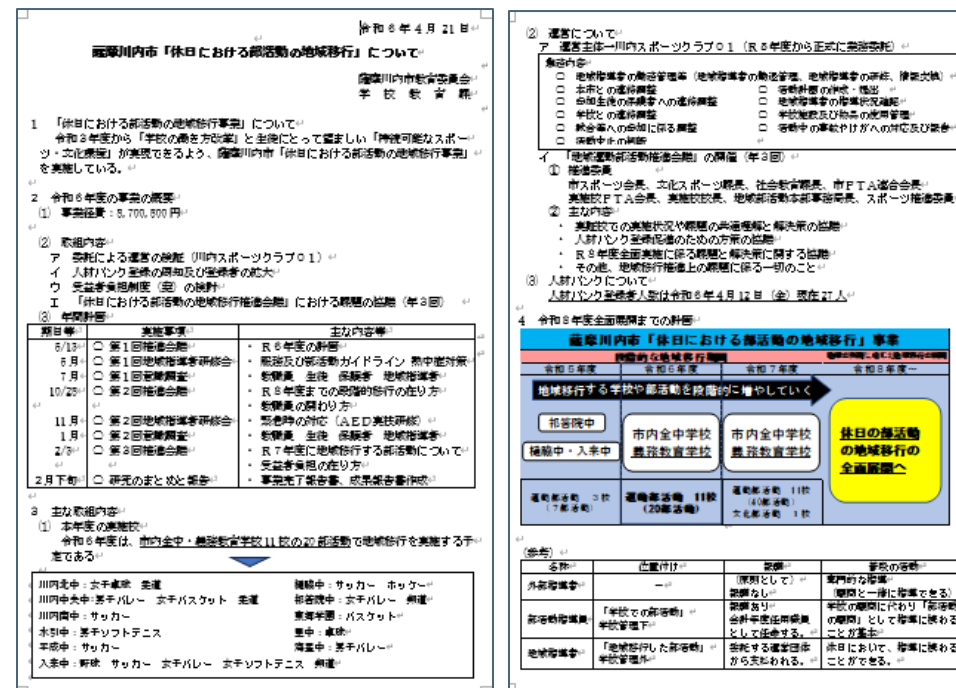
●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・スポーツ推進委員に対し、説明会を行い、「休日における部活動の地域移行」事業に対するスポーツ推進委員の参画の在り方について情報共有した。
- ・人材バンクの更なる増員及び「休日の部活動の地域移行」事業を広く周知するため、市連携企業協議会や市内企業を訪問した。

取組の成果

- ・スポーツ推進委員への説明会を通じて、「休日における部活動の地域移行」事業に対するスポーツ推進委員の参画の在り方について情報共有ができた。
- ・人材バンク登録者の増員にむけて、企業への協力をお願いしてきたが、企業から地域指導者との契約の形態についてアドバイスをいただいた。契約の形態については、今後、整理していく。



【スポーツ推進委員への説明会資料】

人材バンクへの登録状況（R7.3.1現在）

種目名	登録者数	種目名	登録者数
ホッケー	6	バスケットボール	2
剣道	6	柔道	2
バレーボール	5	卓球	2
サッカー	4	野球	1
ソフトテニス	3	陸上	1
ソフトボール	2		

今後の課題と対応方針

- ・改革実行期間に向けて、事業の幅広い周知と、地域人材の活用推進を図る必要がある。
- ・より多くの地域指導者を確保するため、今後、地元企業と更なる連携を図り、人材バンクへの登録を促進していく必要がある。
- ・スポーツ推進委員や各競技団体との連携を更に強化していく必要がある。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【樋脇中：ホッケー】



【入来中：女子ソフトテニス】



【地域指導者研修会】



【地域指導者研修会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校 市教育委員会 各種目の競技団体

●経過

・令和3年度から休日の部活動の地域移行を開始した。（令和3年度は2校5クラブ活動）令和4年度に人材バンクを設立、令和5年度から運営業務を「川内スポーツクラブ01」に委託している。

●実施にあたって生じた課題

○指導者の不足

- ・種目によっては指導者の不足が課題である。
- ・スポーツ少年団や地域の企業等へ事業の周知と人材バンク登録へ向けた働き掛けを継続的に行う必要がある。

○地域指導者の質の向上

- ・研修会を通じて体罰・ハラスメントの根絶や事故防止のための適切な指導の在り方を学ぶ機会を継続的に提供していく必要がある。

○コミュニケーションの向上

- ・地域指導者と生徒、顧問、保護者とのコミュニケーションが良好であることが確認されたが、更に向上させるための取組が必要である。

●実施内容、工夫した点 等

○地域指導者の派遣と研修

- ・地域指導者の派遣を行い、専門的知識に基づいた指導を行っている。
- ・地域指導者に対して、資質向上のための研修会を年2回開催し、体罰・ハラスメントの根絶や事故防止のための適切な指導の在り方を学ぶ機会を提供している。
- ・体罰・ハラスメントの根絶に向け、具体例を示しながら研修を深めることができた。
- ・緊急時の対応について実技研修を実施し、特にAEDの使い方を実際に体験できるようにした。また、ケガや熱中症の対応について、具体的な指導を行い、自身をもって対応できるようにした。

○推進会議の実施

- ・年3回、15人の推進委員が参加する「休日における部活動の推進会議」を開催する中で、実施校の取組状況や課題の共通理解と解決策、人材バンク登録促進のための方策、改革実行期間に向けた課題と解決策等について協議することができた。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

改革推進期間（令和5～7年度）

地域移行する学校や部活動を段階的に増加

- ・ 休日の部活動を段階的に地域移行（実証事業による展開）
- ・ 総合型地域スポーツクラブ「川内スポーツクラブ01」を運営主体とした事業展開
- ・ 学校のニーズに応じた指導者派遣
- ・ 受益者負担導入の検討

令和5年度

祁答院中
樋脇中
入来中

運動部活動
3校 7部活動

令和6年度

市内全中・
義務教育学校

運動部活動
11校
20部活動

令和7年度

市内全中・
義務教育学校

運動部活動
11校
40部活動
文化部活動
1校

改革実行期間（令和8～13年度）

生徒が主体的に選択できる環境の整備・地域全体での連携

- 例）Aスタイル：単一校で実施
 Bスタイル：複数校で実施（合同部活動）
 Cスタイル：市内全部の中・義務教育学校から参加可能（生涯スポーツ）

Aスタイル

指導者

生徒

学校

Bスタイル

指導者

指導者

生徒

学校

学校

学校

Cスタイル

指導者

指導者

指導者

生徒

学校

学校

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

鹿児島県 いちき串木野市

自治体名：鹿児島県いちき串木野市

担当課名：学校教育課

電話番号：0996-21-5127

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	112.30 km ²
人口	25,753 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	679 人
部活動数	26 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

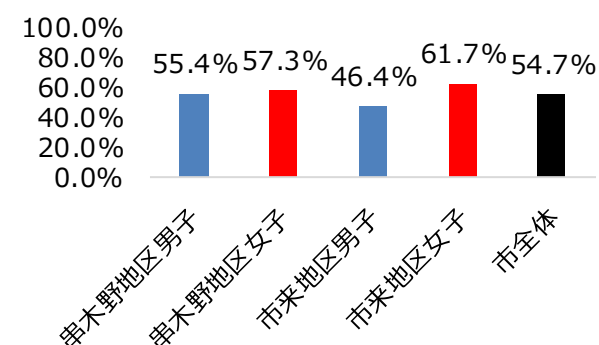
本市には、5つの公立中学校があり、生徒数は令和6年6月1日現在で679人在籍している。部活動は、26部活動あり、運動系23部活動、文化系3部活動である。学校部活動における加入率は54.7%で、今後、生徒数の減少等により学校部活動が存続できるかが大きな課題である。休日の部活動の地域移行に向けて令和5年度に地域部活動推進協議会を設置し、年3回の協議を経て、今年度は1校(市来中学校)をモデル校として5つの部活動について12名の地域指導者による休日の地域移行を実施した。地域指導者の確保については、部活動コーディネーターを中心に関係団体と連携を図りながら人材の確保に努めているところであるが、適正人材の数を確保することは課題である。また、令和7年度にはモデル校を1校(串木野中学校)拡充し、令和8年度の休日の完全移行に向けて取り組んでいる。

地域部活動推進協議会については、令和7年度も継続して開催し、子供たちが将来にわたってスポーツや文化活動に親しめる環境づくりや、持

続可能な部活動と教職員の負担軽減を図ることをねらいとした環境の一体的な整備について協議し、生徒、保護者、地域へ向けた広報紙や市HPによる周知及び教職員、保護者を対象にした説明会を実施していく予定である。

また、今年度から設置した部活動コーディネーターは、学校と地域指導者の連絡調整及び関係機関との連携による指導者の人材発掘、参加者の保険加入業務、地域移行に関する周知や広報など円滑な実施に向けて取組みを行ってきた。令和7年度も継続して取組む予定である。

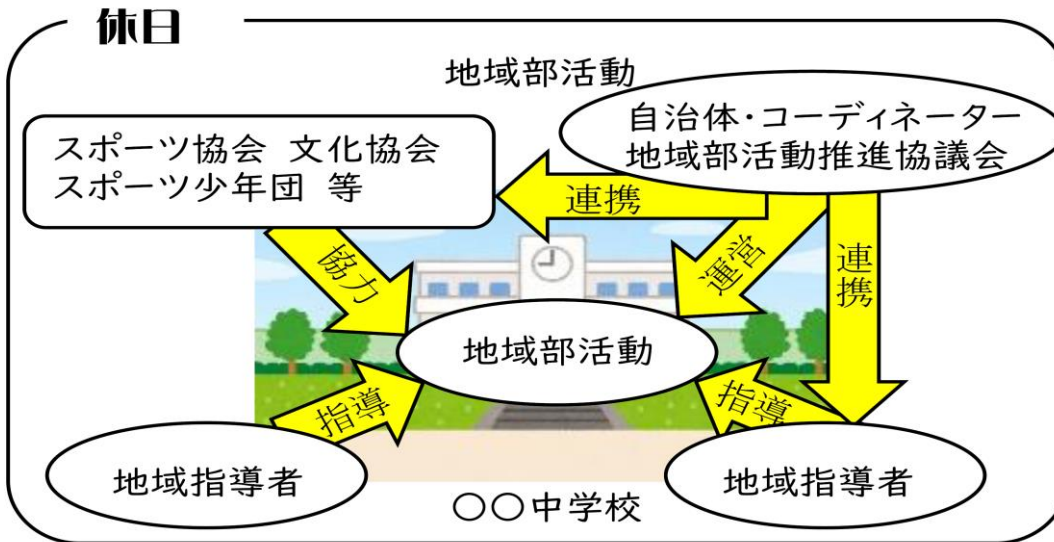
入部率



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

(学校教育課)

- ・休日の部活動の地域移行の計画立案・実施
- ・いちき串木野市地域部活動推進協議会事務局(開催・運営)
- ・各関係機関との連携体制の整備

◎首長部局

- ・現時点では、部活動の地域移行に関するすべての業務を教育委員会が担当している。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	実施準備・地域指導者打合せ
令和6年5月	アンケート実施(市スポーツ協会・市スポーツ少年団の加盟団体) 地域部活動の活動開始(5部活動) 第1回地域部活動推進協議会開催
令和6年6月	アンケート実施(生徒・保護者・教職員) 地域指導者・保護者向け研修会の実施
令和6年8月	第1回部活動地域移行通信発行
令和6年9月	アンケート実施(市スポーツ協会・市スポーツ少年団の加盟団体) 地域指導者意見交換会の実施
令和6年10月	第2回地域部活動推進協議会開催
令和6年12月	アンケート実施(実証事業参加の生徒・保護者・地域指導者・顧問) 第2回部活動地域移行通信発行 令和7年度実証事業参加校説明会開催(教職員)
令和7年1月	令和7年度実証事業参加校説明会開催(保護者) 地域指導者意見交換会の実施
令和7年2月	第3回地域部活動推進協議会開催
令和7年3月	第3回部活動地域移行通信発行

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	市来中学校	実施した地域クラブ総数	4 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	11 人	全体の運営スタッフ数	1 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
市来中バドミントンクラブ	いちき串木野市	バドミントン	週1回	午前又は午後3時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	2 人	0人	会費なし	地域クラブ
市来中弓道クラブ	いちき串木野市	弓 道	週1回	午前又は午後3時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	2 人	0人	会費なし	地域クラブ
市来中野球クラブ	いちき串木野市	野 球	週1回	午前又は午後3時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	1 人	0人	会費なし	地域クラブ
市来中女子バレーボールクラブ	いちき串木野市	バレーボール	週1回	午前又は午後3時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	6 人	0人	会費なし	地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 実績はありません。

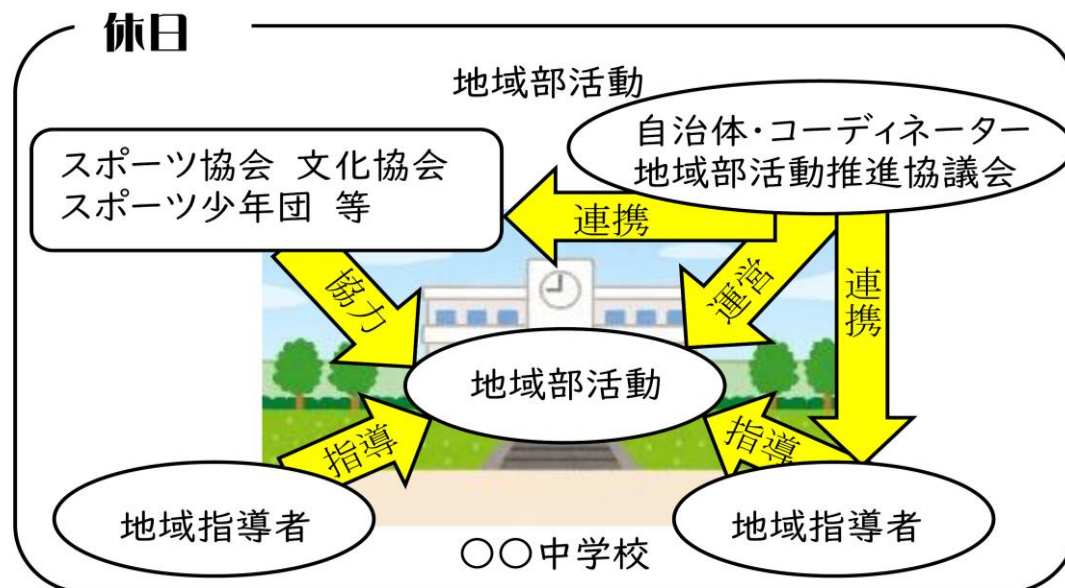
2.実証内容と成果

主な取組例

●市来中学校クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール、軟式野球、バドミントン、弓道
運営団体名	いちき串木野市
期間と日数	バレーボール、軟式野球、バドミントン、弓道 期間：5月1日～1月31日 日数：月3回～4回程度
指導者の主な属性	地域部活動指導者
活動場所	市来中学校
主な移動手段	自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	すべての活動で会費なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●地域部活動コーディネーター

役割：地域人材の確保や学校と指導者との連絡調整等の課題への総合的な取組を行う。

●地域部活動指導者 11名

役割：部活動の顧問と連携・協力して実技の指導等を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・いちき串木野市地域部活動推進協議会開催(3回)
- ・地域部活動コーディネーターによる関係団体・学校・地域指導者等との連絡調整の体制整備に関する取組

取組の成果

- ・第1回いちき串木野市地域部活動推進協議会において、部活動の地域移行に向けた活動方針が決定し、今後の取組について承認を得た。第2回協議会では、令和7年度の実証事業のモデル校を1校(市来中学校)から2校(市来中学校・串木野中学校)に増やすことが決定し、地域部活動の拡充を図っていく。第3回協議会では、今年度の実証事業の成果と課題等について協議した。
- ・地域部活動コーディネーターを設置したことで、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われた。

地域部活動推進協議委員(15名)

- 1 市スポーツ協会長
- 2 市文化協会長
- 3 市スポーツ少年団本部団長
- 4 市PTA連絡協議会代表
- 5 各中学校長(管内5中学校)
- 6 市中学校体育連盟理事
- 7 中学校文化系部活動顧問代表
- 8 市教育委員会教育委員代表
- 9 市教育委員会教育総務課長
- 10 市教育委員会学校教育課長
- 11 市教育委員会社会教育課長

〔以下事務局〕

地域部活動コーディネーター
市教育委員会教育総務課長補佐
市教育委員会学校教育課長補佐
市教育委員会社会教育課長補佐
市教育委員会学校教育課指導主事

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・地域指導者の保険加入の手続き
- ・毎月の地域指導者への謝金の支払い
- ・アンケートの実施(4回)
- ・地域部活動通信の発行(3回)
- ・地域部活動推進協議会の運営(3回)
- ・地域指導者および保護者向けの研修会の実施
- ・地域指導者との意見交換(2回)
- ・地域指導者の発掘等

今後の課題と対応方針

- ・地域指導者の質と量の確保について、引き続きスポーツ協会、スポーツ少年団など関係団体と連携を図る。また、人材バンクの設置等を検討する。
- ・地域移行の運営に係る経費について、保護者の費用負担等を検討するため、学校、保護者等と協議する。また、参考となる他市の事例などの情報収集を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・地域指導者および保護者合同の研修会を開催し、部活動地域移行の今後のスケジュールの説明と熱中症予防策について研修を行った。(6月27日)
- ・市スポーツ少年団本部・指導者協議会合同研修会に地域指導者が参加し、「子供の豊かな未来を作るスポーツマンシップ」について研修した。(1月21日)
- ・地域指導者等意見交換会の実施(9月18日・1月22日)
- ・市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携による地域指導者の人材確保

取組の成果

- ・参加した地域指導者や保護者から、今後の地域移行について理解でき、熱中症予防策について学ぶことができて良かったとの意見が多かった。
- ・スポーツ少年団の指導者と一緒に「指導者にとってのスポーツマンシップ」について学ぶことができ、地域指導者の質の向上に繋がった。
- ・地域指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会が一堂に会する意見交換会において、地域移行の実施について課題や地域指導者が抱える悩みを出席者全員が共有することで円滑な運営が図られた。
- ・令和7年度から部活動の地域移行に取り組む予定の串木野中学校の9の運動部活動の地域指導者について、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携により、7部活動(地域指導者7名)について確保できる見込みである。



【地域指導者および保護者合同研修会の様子】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

①今年度部活動の地域移行に取り組んでいる市来中学校の保護者および地域指導者を対象に合同の研修会を実施した。内容は、「部活動地域移行の今後の方針とスケジュールについて」「熱中症予防策について」である。

②市スポーツ少年団本部・指導者協議会合同研修会に地域指導者も参加した。内容は、「子供の豊かな未来をつくるスポーツマンシップ」と題し、勝利とスポーツマンシップはトレードオフの関係ではなく、自己を律し高めるための概念であり、両立を目指していくという指導者にとってのスポーツマンシップについて研修した。

指導者研修の参加実績

①開催日：6月27日 ・参加人数：10人

②開催日：1月21日 ・参加人数：4人

受講者の声

①「講師の説明が分かりやすく良かった」「これからの活動に活かしていきたい」「熱中症予防について、再確認することができた」「生徒たちにも聞かせたい内容でした」など有意義な意見ばかりだった

②「子供たちの指導に活かしていきたい」という意見が多かったが、「内容的に難しかった」「分かりづらかった」などの意見もあった。

今後の課題と対応方針

- ・参加者が少ない：対象者への事前周知を徹底する。
- ・近くに適した講師がいない：国の講師派遣事業等を活用する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

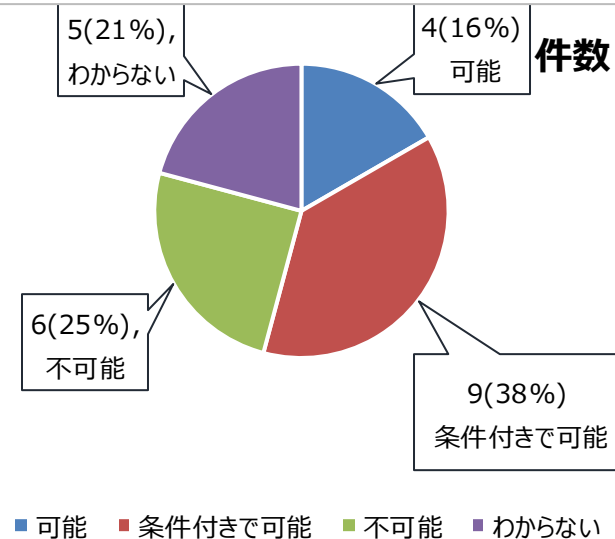
- ・地域部活動推進協議会の委員に、市立中学校長・市スポーツ協会代表・市スポーツ少年団代表・市PTA連絡協議会代表、市文化協会代表、体育・文化系理事、関係各課長を協議会委員とした。
- ・地域部活動コーディネーターによる関係団体との連携

取組の成果

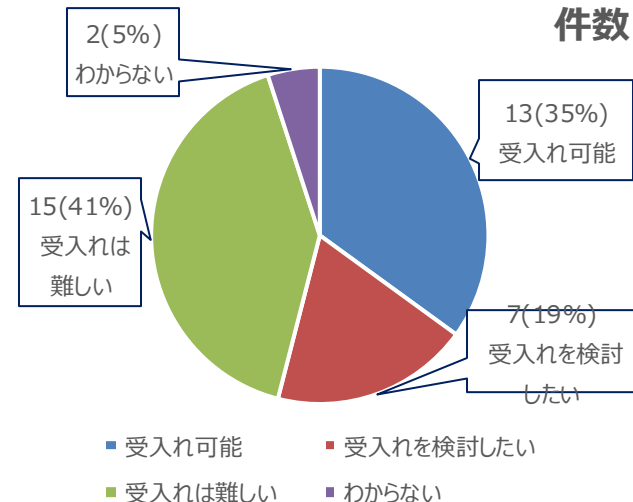
- ・校長を通じて各中学校の教職員・生徒への周知が図られた。
- ・市スポーツ協会など関係団体に対して地域指導者の人材派遣や中学生の受入れについてのアンケート協力の要請を行った。アンケートの結果、人材派遣できるかの質問については、回答があった24件中「可能」「条件付で可能」とした件数は、13件で約5割だった。また、中学生を受け入れることができるかの質問に対して、回答があった37件中「受入れ可能」「検討したい」と回答した件数は、20件で約5割だった。
- ・地域部活動コーディネーターの設置により、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われた。

貴団体のメンバーから、中学校部活動に地域指導者として人員を派遣していただくことは可能ですか。

【地域移行に向けたスポーツ指導者アンケート】



貴団体の中学生を受け入れることができますか。
【地域移行における中学生の受入状況アンケート】



今後の課題と対応方針

- ・今後は、市以外の運営主体の体制整備、指導者の人材確保等が課題となるため、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等の関係団体との連携を強化していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○地域部活動推進協議会において、令和7年度の地域移行を1校（市来中）から2校（市来中・串木野中）へ拡充することを決定した。

○地域部活動推進会議において、令和6年度に実施している市来中野球部の地域部活動について、令和7年度に市来中と他4校合同による地域部活動の実施について了承を得た。

各自治体の役割

- いちき串木野市教育委員会
- ・運営主体として地域部活動の運営
- ・予算管理
- ・地域指導者、学校、関係団体との連絡・調整
- ・諸謝金支払い等の事務処理

移動手段

○2校それぞれの学校部活動をベースにした地域部活動を実施する予定のため、生徒の移動手段は徒歩等になる。

○活動場所は、市来中を予定しているため、活動場所までの移動手段は、保護者の送迎等を想定している。

事務局運営の方法

- ・いちき串木野市教育委員会に地域部活動事務局を設置
- ・地域部活動コーディネーターが地域指導者、学校等との連絡調整を実施

取組の成果

- 令和7年度に向けて地域移行の拡充が図られる。
- 多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するという観点から、令和7年度に向けて市内中学校5校による合同の地域部活動が実施可能となる。

今後の課題と対応方針

- 指導者の人材確保は、大きな課題であるため、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携を行い、令和8年度末までに、市内の全ての運動部活動について地域部活動への移行を目指す。
- 受け入れる地域部活動の指導者、学校等と連携し、受入れ体制の整備を行う。そして、他の地域部活動について、合同の地域部活動の拡充を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

・市来中学校のバドミントン部、弓道部、女子バレーボール部、野球部において、5月から11名の地域指導者が指導する休日の部活動の地域移行を実施した。

・市来中学校の地域部活動の指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会が一堂に会して地域移行に関する意見交換会を9月と1月の2回実施した。

活動の詳細			
参加人数	86 人	指導者数	11 人
属性	地域クラブ活動		
具体的な内容	市来中学校のバドミントン部、弓道部、女子バレーボール部、野球部において、5月から11名の地域指導者が指導する休日の部活動の地域移行を実施した。11名の地域指導者のうち、4名は顧問が兼職兼業で指導にあたった。		
子供の声	● 指導者がわかりやすく指導してくれた。 ● 専門的な指導が受けられた。 ● 活動時間を増やしてもいいと思った。 ● 細かいところを沢山教えてもらったり、様々なコツを教えてもらったりしてよかった。		
関係者の声	● 指導者に安心して任せることができた。 ● 中学生の成長を間近で見ることができた。 ● 専門的な指導により、生徒が満足している様子が見受けられた。 ● 平日の部活動と休日の地域部活動で、地域指導者との連携が難しかった。		
運営経費	地域指導者の謝金、保険料等は国の委託事業を活用し、中学生の保険料については、受益者負担とした。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

・実証事業に参加した市来中学校の生徒・保護者・指導者・顧問に対し12月6日～12月27日にアンケートを実施した。

生徒の満足度については、「とても満足している」が37%で「満足している」が52%の回答があり、合わせると8割以上を占め、実証事業に参加したほとんどの生徒が満足している結果となった。

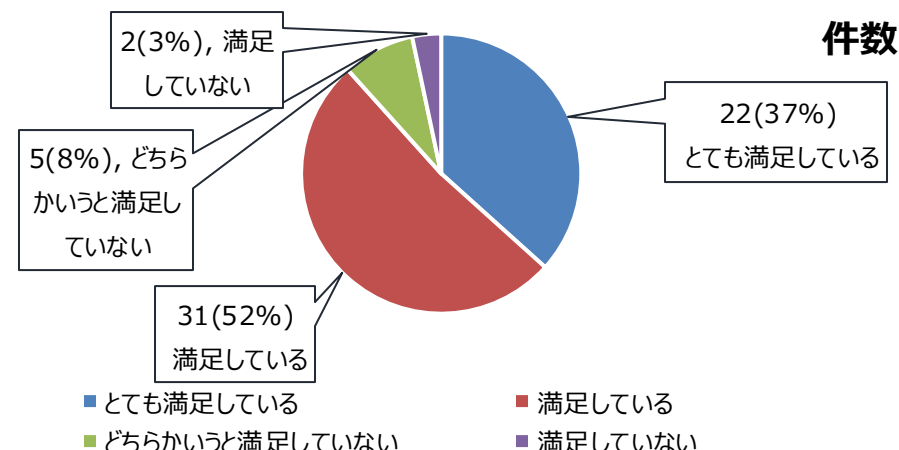
保護者の満足度については、「とても満足している」が14%で「満足している」が64%の回答があり、合わせると約8割を占め、実証事業に参加したほとんどの保護者が満足している結果となった。

・市来中学校の地域部活動の指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会が一堂に会した地域移行に関する意見交換会において、課題や地域指導者が抱える悩み等を共有することで、円滑な運営が図られた。

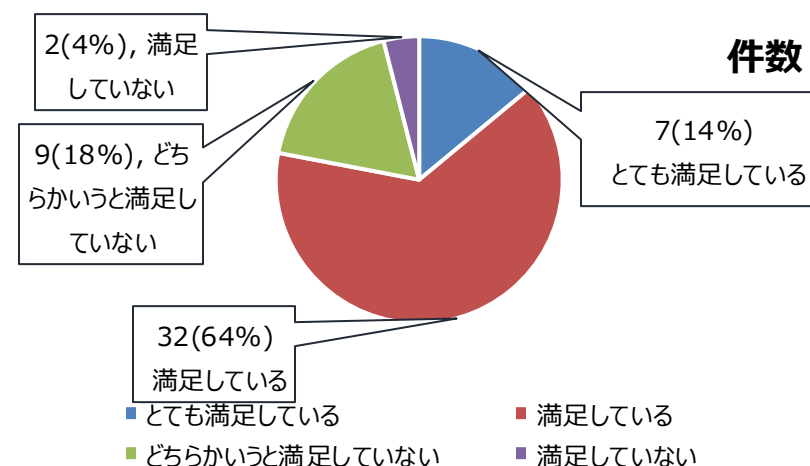
今後の課題と対応方針

- ・地域指導者の質と量は、今後も大きな課題であるため、研修等による質の向上を図り、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等と引き続き連携していく。また、人材バンク等の検討を行う。
- ・地域指導者への謝金を含めた地域移行の運営に係る経費について、地域部活動を行う学校、保護者等と協議する。

生徒の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。
【部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート】



保護者の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。
【部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート】



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- ・地域部活動の運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、まずは、地域指導者への謝金を含めた地域移行の運営に係る経費の把握に努めた。
- ・市内4中学校の全保護者を対象に「中学校部活動の地域移行に関するアンケート」を実施し、保護者が希望する月額経費を把握した。
- ・実証事業に参加した市来中学校の保護者を対象に「部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート」を実施し、保護者が希望する月額経費を把握した。

地域クラブに係る経費

■ランニングコストの分析

- ・指導者1名の謝金の上限187,200円（1,200円×3時間×52週）
- ・指導者1名のスポーツ安全保険料1,850円
- ・地区大会出場費（年間） 68,400円（5部活動）
- ・県体大会出場費（年間） 26,300円（5部活動）
- ・参加費・登録料 127,900円（年間）（5部活動）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

持続的な運営に必要な受益者負担額について、指導者謝金・保険料で試算した。
（検証結果の詳細は次ページ参照）

収支バランス

現在、地域指導者の謝金、保険料等について、国の委託事業を活用し、中学生の保険料を受益者負担としている。
今後、持続的な運営に必要な支出に見合う収入の確保に向けて、支出を精査した上で、地域部活動を実施する学校、保護者等と協議を進める必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

・市来中学校の4つ各地域部活動を指導者1名ずつで指導するとした場合
謝金：187,200円（1,200円×3時間×52週） 保険料：1,850円

バドミントン 189,050円/28名÷6,751円（年間）562円/月

野球 189,050円/13名÷14,542円（年間）1,211円/月

弓道 189,050円/12名÷15,754円（年間）1,312円/月

女子バレーボール部 189,050円/14÷13,503（年間）1,125円/月

・謝金・保険料をすべての地域部活動で公平に負担する場合

189,050円×5名/86名÷10,991円（年間）915円/月

各地域部活動で負担すると部員数によって負担額に差が生じ、全体で公平に負担すれば他の地域部活動の分まで負担することになる。また、指導の回数、大会参加料、消耗品など他の経費を含めると、試算した額を大きく上回ることが予想される。

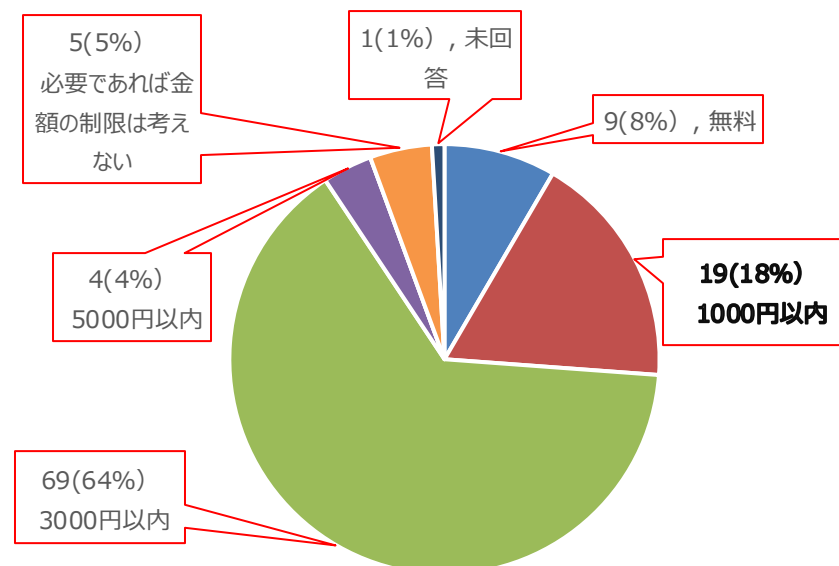
・アンケートの結果、地域部活動に参加する際の妥当な経費として、月額3,000円以下と回答した割合が約8割だった。

今後の課題と対応方針

・アンケートの結果で、妥当な経費として月額3,000円以下の回答がほとんどだったが、謝金と保険料のみで試算してみても、部員数により、負担額の変動が生じる。それに指導の回数、大会参加料、消耗品などその他の経費を含めると、月額3,000円以内で収まるかは不確かである。また、経費の徴収、

学校部活動が地域移行される場合、その活動に参加するための経費（月謝）はどの程度が妥当だと思いますか。

【中学校部活動の地域移行に関するアンケート】



管理、支払い等を誰が、どのように行うのかなど多くの課題がある。そのため、経費の詳細を把握し、地域部活動を実施する学校、保護者等と協議を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



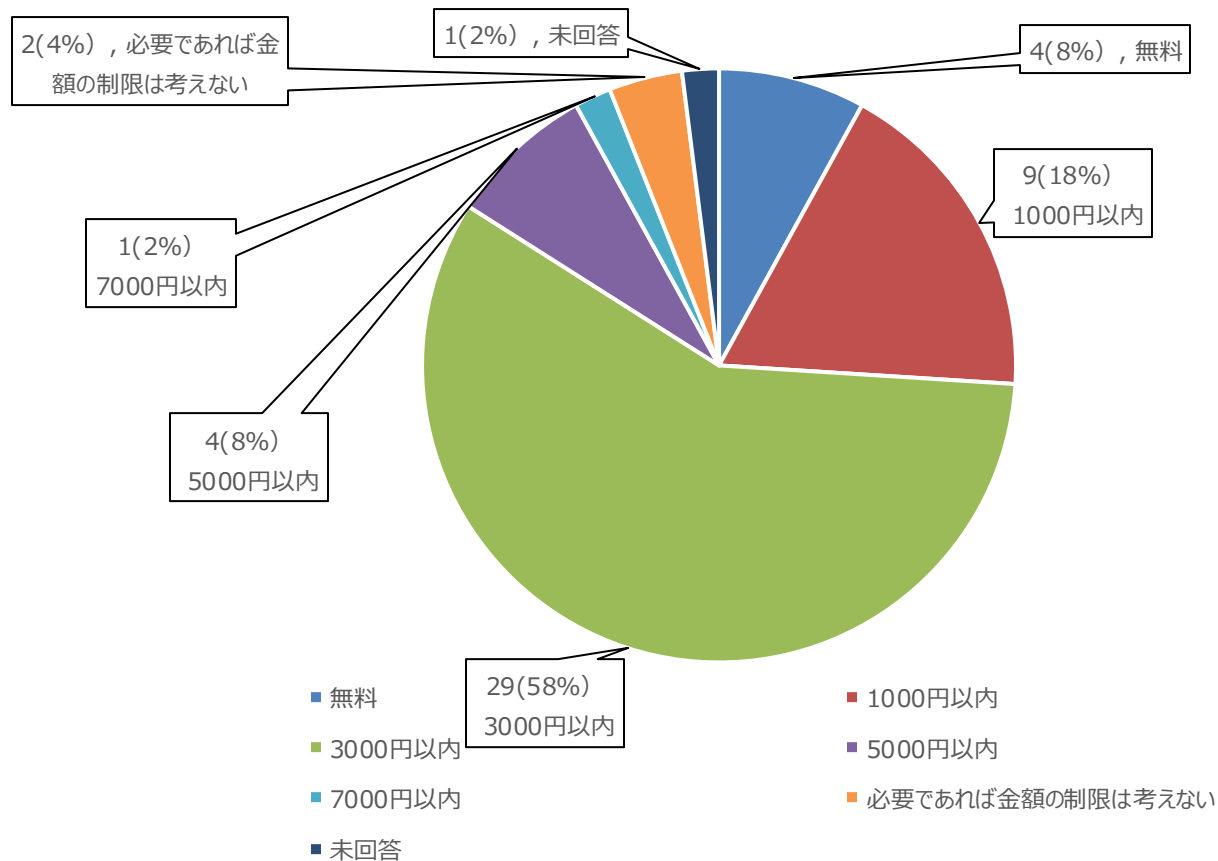
取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

部活動が地域移行される場合、その活動に参加するための経費（月謝）はどの程度が妥当だと思いますか。

【部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート】



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

・部活動の地域移行を進めるにあたり、活動場所として学校施設を活用した。その際、施設の開閉等について、学校、地域指導者、地域部活動コーディネーター、教育委員会と話し合いを行った。

・市来中学校を除く市内4中学校の全保護者に対して「部活動の地域移行に関するアンケート」を実施した。

取組の成果

・活動場所として市の体育施設があるが、他の利用もあり、日程の確保が難しい。そのため、学校施設を活用することで年間を通して計画的に活動することができた。

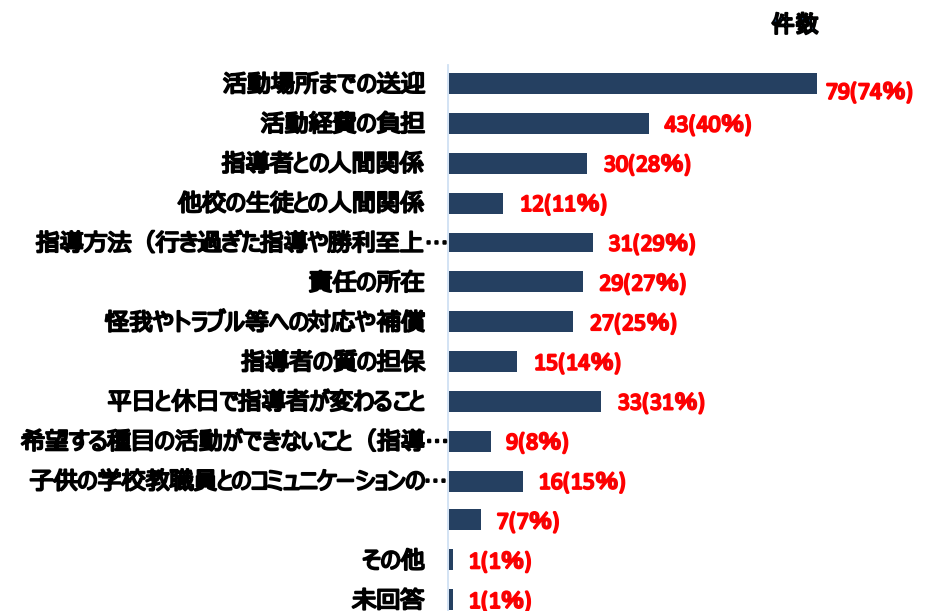
・部活動の地域移行に関するアンケート結果で、「部活動の地域移行で心配されること」の設問では、「活動場所までの送迎」が74%と最多で、次いで「活動経費の負担」が40%となっている。

学校施設を活用することで、地域部活動のための新たな備品等を購入する必要はなく、活動場所までの移動を行う必要も無いなど保護者の負担が抑えられた。

今後の課題と対応方針

部活動の地域移行を進めるにあたり、地域部活動の拠点となる学校施設において、学校、教育委員会が連携し、持続可能な体制の構築や環境の整備が必要である。

休日の部活動を段階的に学校部活動から地域部活動に移行されることについて心配されることがあればお答えください。【複数回答可】
【部活動の地域移行に関するアンケート（保護者）】



2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 実証事業として、以下のような取組みを行った。
- ・いちき串木野市地域部活動推進協議会を3回実施した。
- ・市来中学校の4運動部活動において、5月から休日の部活動の地域移行を実施した。
- ・市内4中学校の生徒・保護者・教職員に対して部活動の地域移行に向けたアンケートを実施した。
- ・部活動の地域移行における指導者の人材派遣および中学生の受入れ状況等に関するアンケートを市スポーツ協会・市スポーツ少年団に実施した。
- ・部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケートを実証事業に参加した市来中学校に実施した。
- ・地域部活動の地域指導者および保護者合同の研修会を実施した。
- ・市スポーツ少年団本部・指導者協議会合同研修会に地域指導者が参加した。
- ・部活動地域移行通信を3回発行した。
- ・地域指導者等との意見交換会を2回実施した。
- ・地域部活動コーディネーターを設置し、関係団体等との連絡調整の体制整備に関する取組みを実施した。

●成果の評価

- ・第1回推進協議会において、部活動の地域移行に向けた今年度の活動方針等を決定し、第2回推進協議会では、令和7年度の実証事業の拠点校1校の追加を決定して、地域部活動の拡充が図られた。
 - ・市来中学校の4運動部活動において、地域指導者11名による地域移行を実施し、専門的な技術指導による生徒の意欲や技術の向上と顧問の負担軽減が図られた。
 - ・市スポーツ協会・市スポーツ少年団に実施したアンケートから、地域指導者の人材派遣の現状や中学生の受入れ状況等を把握することができた。
 - ・市内中学生の生徒・保護者・教職員に対するアンケートから、地域移行に対する考え方を把握することができた。
 - ・実証事業モデル校アンケートから、実証事業に参加した生徒の満足度8割超、保護者の満足度約8割という回答が得られた。
 - ・部活動地域移行通信を発行し、各中学校、市HPを通じて発信することで、地域移行に向けた取組みの周知が図られた。
 - ・コーディネーターの設置により、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われた。
- 以上のことから、実証事業の取組みについて、当初の目標を概ね達成したと考えられる。

●今後に向けて

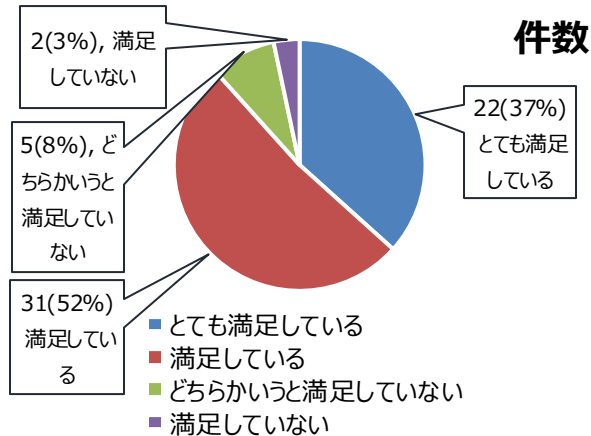
- ・令和7年度は、2校を拠点校とする地域移行を予定しており、地域指導者の質と量の確保は大きな課題である。今後は、研修会等による質の向上と量の確保のため、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携を継続し、人材バンク等の検討も行う。
- ・地域移行の運営に係る経費について、地域部活動に参加する学校、保護者等と協議していく。

2.実証内容と成果②

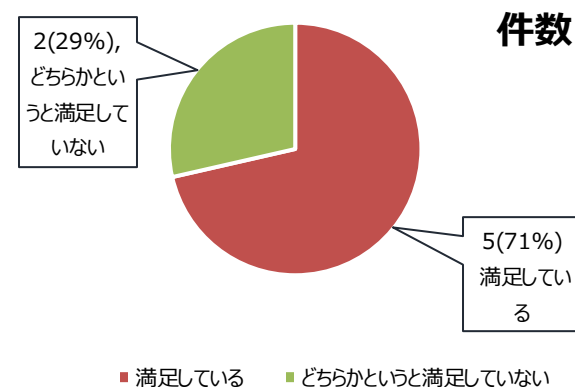
アンケート結果・参加者の声

【●アンケート結果：部活動の地域移行に向けた実証事業モデルアンケート】

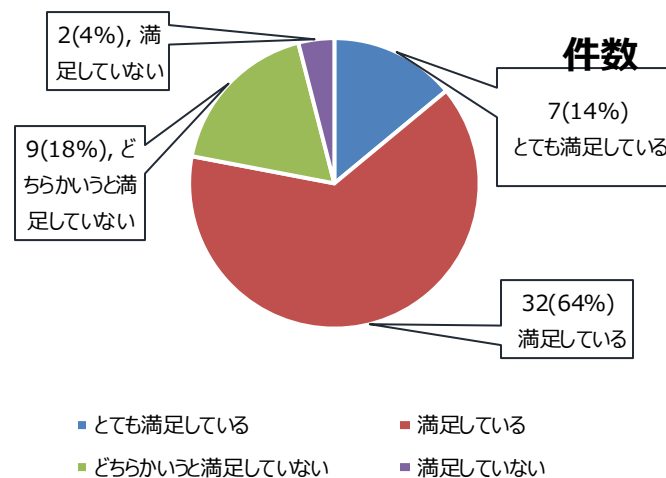
生徒の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。



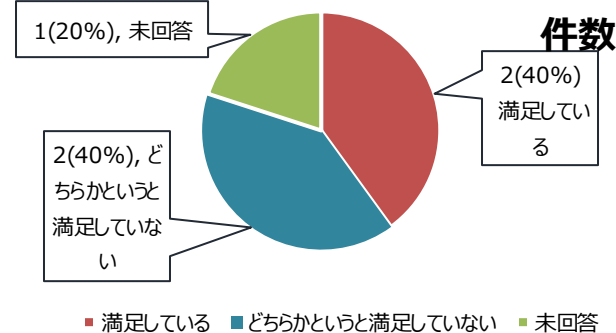
指導者の実証事業（部活動の地域移行）満足度についてお伺いします。



保護者の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。



顧問の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。



●参加者の声

中学生

- ・指導者がわかりやすく指導してくれた。
- ・専門的な指導が受けられた。
- ・活動時間を増やしてもいいと思った。
- ・細かいところを沢山教えてもらったり、様々なコツを教えてもらったりしてよかった。

保護者

- ・指導者に安心して任せることができた。
- ・レベルアップのためにどんどん介入して欲しい。
- ・学校の規模、特色にあった取組みを進めていけばいいと思う。

指導者

- ・中学生の成長を間近で見ることができた。
- ・中学生が楽しく活動していた。
- ・地域移行を進めるためには、顧問との連携が重要である。
- ・平日の様子がわからず、やりにくいところがあった。

顧問

- ・専門的な指導で、生徒が満足している様子だった。
- ・自分の業務負担が少し軽減されたと思う。
- ・指導者との関わり方に悩みました。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

○ 部活動地域移行通信

・現在、2回発行（8月・12月）しており、第3号の発行は3月を予定している。そして、学校を通じて教職員、中学校1年生から3年生の生徒、保

護者、市スポーツ協会、市スポーツ少年団等に配付している。その他、市HPに公開して地域移行に向けた取組みについて周知を図った。

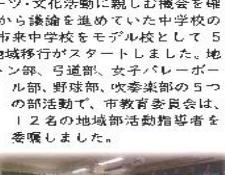
部活動地域移行通信 第1号

～ 中学校部活動が変わります ～

部活動の地域移行が始まりました

子どもたちが継続してスポーツ・文化活動に親しむ機会を確保することを目的に、昨年度から議論を進めていた中学校の部活動の地域移行について、市東中学校をモデル校として5月1日から、休日の部活動の地域移行がスタートしました。地域移行を行うのは、バドミントン部、弓道部、女子バレーボール部、野球部、吹奏楽部の5つの部活動で、市教育委員会は、12名の地域部活動指導者を委嘱しました。




令和6年8月発行
いちき串木野市教育委員会
学校教育課 TEL 21-5127

市東中学校部活動の地域部活動指導者および保護者合同の研修会を開催

6月27日（木）いちきアクアホールで、市立中学校部活動の地域部活動指導者および保護者を対象に合同の研修会を開催しました。研修会では、市から部活動地域移行の今後の方針とスケジュールについて説明を行ったあと、大塚製薬株式会社を招き、「熱中症予防策について」と題して熱中症の仕組みから対策まで幅広く講義が行われました。

参加者からは、「熱中症について、詳しく知ることができてよかった」「とても分かりやすい内容で、もっと多くの人に聞いてもらいたい」などの感想をいただきました。



5月29日（水）に令和6年度第1回地域部活動推進協議会を開催しました。「ガイドライン」の共有、年度スケジュール、課題の洗い出しやアンケートの実施に向けた協議を行いました。

○ 休日の地域部活動移行についてのスケジュールは次のようになります。

R6 ① モデル校による休日の部活動の地域移行計画	R7 ② モデル校と他校による休日の部活動の地域移行計画	R8 ③ 市、学校による休日の部活動の地域移行計画	R9 ④ 市、学校による休日の部活動の地域移行計画
① モデル校による休日の部活動の地域移行計画	② モデル校と他校による休日の部活動の地域移行計画	③ 市、学校による休日の部活動の地域移行計画	④ 市、学校による休日の部活動の地域移行計画
① モデル校による休日の部活動の地域移行計画	② モデル校と他校による休日の部活動の地域移行計画	③ 市、学校による休日の部活動の地域移行計画	④ 市、学校による休日の部活動の地域移行計画

地域部活動指導者の研修会への参画

地域部活動の普及・啓発および実績を兼ねた休日の部活動の地域移行

部活動実態調査の結果

全市域に実施した実態調査の結果は、次のとおりです。

顧問の専任専門率や中学生の入部率から、今後の方向性を検討していきます。

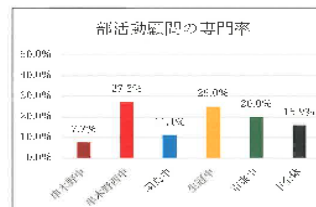
令和7年度モデル校

令和7年度のモデル校は市東中学校に決定しました。

市東中学校には、10の部活動があります。（R6、4月時点）

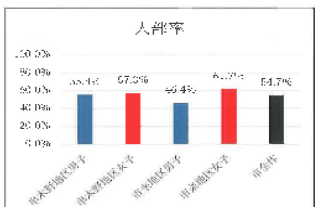
今後、地域部活動指導者の人材を育成し、令和7年度からの休日の部活動地域移行に向けて準備を進めていきます。

部活動顧問の専門率



部活動	専門率
市東中学校	27.2%
市東中学校	27.2%
弓道部	27.2%
吹奏楽部	27.2%
市東中学校	27.2%
市東中学校	27.2%

入部率



部活動	入部率
市東中学校	54.7%
市東中学校	54.7%
弓道部	54.7%
吹奏楽部	54.7%
市東中学校	54.7%
市東中学校	54.7%

【部活動地域移行通信第1号】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【地域部活動の様子：バドミントン】



【地域部活動の様子：弓道】



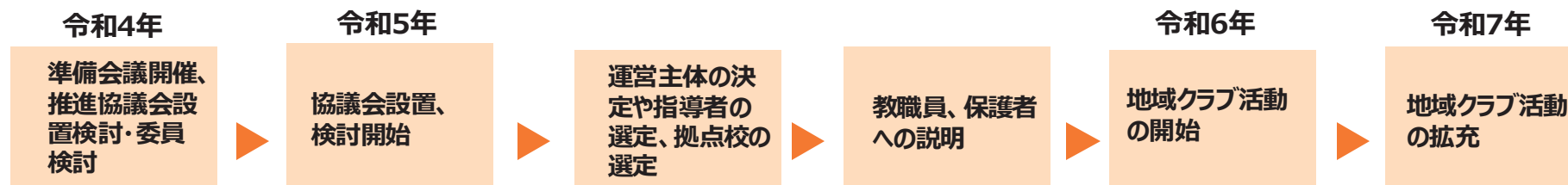
【地域部活動の様子：女子バレーボール】



【地域部活動の様子：野球】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市文化協会、市PTA、地域部活動コーディネーター、教育委員会

●経過

令和4年度に部活動の地域移行に向けた準備会議を開催し、地域部活動推進協議会設置の検討・協議会委員の検討を行い、いちき串木野市地域部活動推進協議会設置要綱を制定した。令和5年度に推進協議会を開催し、市が運営主体となり地域移行を進める事や地域移行に向けた推進計画および令和8年度までの活動方針を策定した。そして、令和6年度から実施する地域部活動の拠点校を決定し、教職員、保護者に対して説明会を行った。また地域部活動コーディネーター設置規則、地域部活動指導員設置規則を制定し、人材の発掘に取り組んだ。令和6年度は、5月から1中学校の5部活動（うち運動部活動4）において、休日の部活動の地域移行を実施した。また、推進協議会において、令和7年度に実施する地域部活動の拠点校を1校から2校に拡充することが決定された。

●実施にあたって生じた課題

平日の部活動を指導する顧問と休日の地域部活動の指導者との連携が上手く取れないときがあった。また、保護者等から地域指導者への謝金を含めた地域移行の運営に係る経費について、負担増を懸念する意見が多くあった。そして、中体連の大会など学校単位で登録しているため、部活動と地域部活動の区別が明確でない。地域指導者（顧問の兼職兼業を除く）の確保などが課題として挙げられる。

●実施内容、工夫した点 等

令和6年5月から1中学校の5部活動（うち運動部活動4：バドミントン・弓道・女子バレーボール・野球）において、休日の部活動の地域移行を実施した。指導は、運動系の地域指導者11名（うち兼職兼業4名）で行った。実施にあたって生じた課題等については、地域指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会による意見交換会を行って解決を図った。（9月・1月）

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

市学校部活動の地域移行に係るスケジュールについて

	R 6	R 7	R 8	R 9以降
R 6 年度 ～ R 9 年 度にかけて 段階的移 行実施	① モデル校による休日の部活動 の地域移行実施 ・ 保険加入 ・ 成果と課題のまとめ ② 次年度に向けた事業拡大 ・ 地域指導者の確保 ・ モデル校の拡充を検討 ・ R7 年度予算の検討 スケジュールと方針の 提示 市来地区の中学校で 実施 モデル校拡大に向けた学 校，保護者等への説明会の 実施	① モデル校 2 校による休日 の部活動の地域移行実施 ・ 保険加入 ・ 成果と課題のまとめ ② 中学校再編に併せた事業 の検討 ・ 再編後の部活動設置につ いての検討 ・ 地域指導者の確保 ・ R8 年度予算の検討 部活動の受け皿となる団体（組織）の整備および運営主 体の検討 市来地区と串木野地 区の 2 中学校で実施	① 全中学校による休日の部 活動の地域移行 ② 平日の部活動の地域移 行に向けた検討及び改革の 推進	① 平日の部活動の地域 移行に向けた検討及び 改革の推進 当面の間⇒学校部活 動と地域部活動の併 存（中学校 2 校によ る合同部活動、地域 指導者等の配置等 について随時検討を行 う。）
地域指導者等の研修会への参加				
方向性の検討		地域部活動の普及・啓発及び実践を兼ねた休日の学校部活動の段階的地域移行		

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

鹿児島県 南さつま市

自治体名：鹿児島県南さつま市

担当課名：学校教育課

電話番号：0993-76-1805

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	283.59 km ²
人口	31,234 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	735 人
部活動数	30 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市で部活動を有するのは、3 中学校、2 義務教育学校の計 5 校である。10 年前から比べると生徒数は、100 名以上減少し、これに伴い、部活動数や部活動ごとの部員数についても減少してきている。

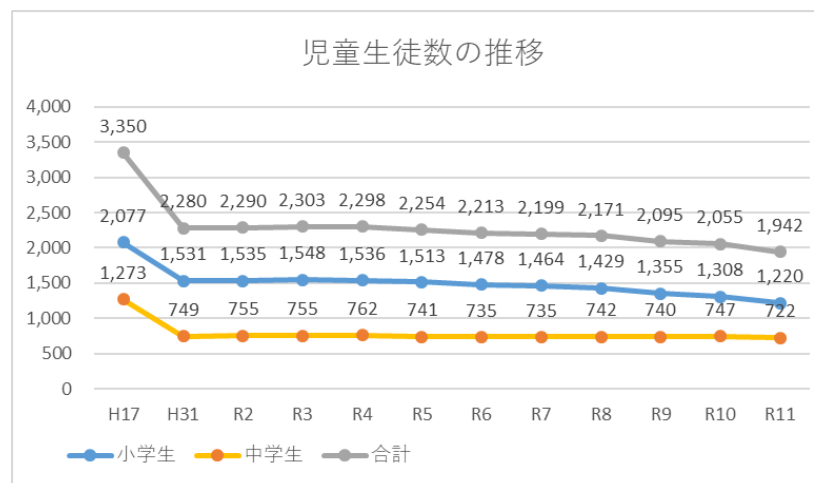
令和 6 年度の生徒数は 735 名で、今後 5 年程度はこの人数で推移していく見通しである。

運動部活動については、30 の部活動があり、349 名が加入している。学校によっては 3 年生の引退後、単独でのチーム編成に苦慮し、合間で大会に参加する学校もある。

本市で運動部活動の地域移行に向けた取組

を行うに当たり課題となっているのは、指導者の確保である。現在も外部指導者として練習に携わってくださる方はいるが、地域指導者として休日の指導をお願いするとなると難しいようである。部活動顧問が休日の指導や大会等の引率に関わりたいことや、地域指導者が長期的に指導を行うことが難しいことが挙げられる。

また、市が広域に広がっているため送迎バスを運行するにも、運転手が不足しており、運行が困難な状況にある。広域で地域クラブ活動を推進するための課題になると考えられる。



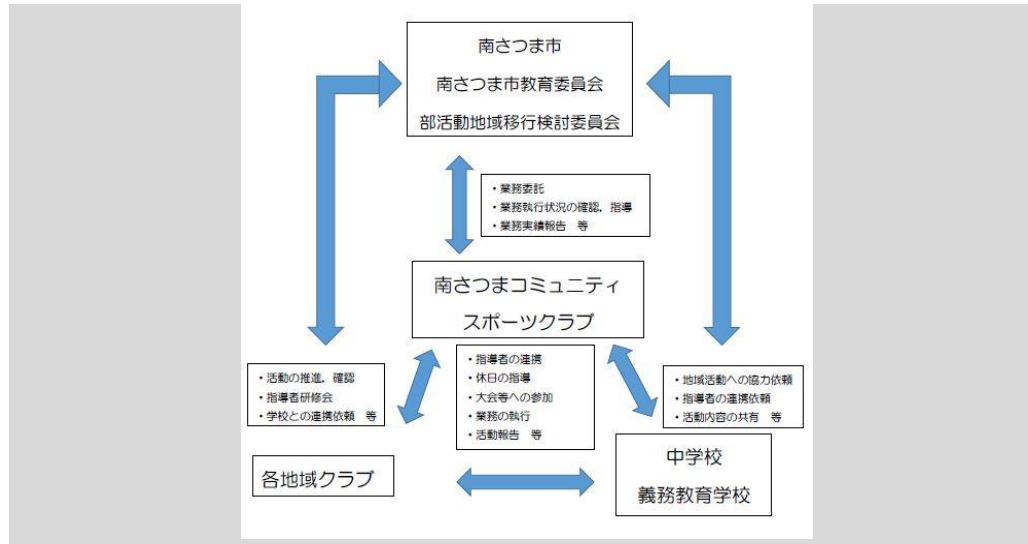
市町村合併を行った平成 17 年は 3,350 人であったが、令和 6 年度は、約 3 分の 2 の 2,213 人まで減少した。

今後、5 年間は生徒数の減少はないが、児童数が 200 人ほど減少する見込みである。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・部活動地域移行検討委員会の開催
- ・指導者研修会の開催
- ・南さつまコミュニティスポーツクラブとの定期的な連携
- ・活動内容、業務内容の確認、指導等

◎首長部局

- ・県との委託契約締結

年間の事業スケジュール

令和6年4月 南さつまコミュニティスポーツクラブとの業務委託契約
加世田柔道、坊津柔道、加世田陸上の活動開始

令和6年5月 令和6年度第1回部活動地域移行検討委員会の実施

令和6年9月 市内中・義務教育学校部活動顧問へのアンケート実施

令和6年10月 令和6年度第2回部活動地域移行検討委員会の実施

令和6年2月 地域クラブ活動について生徒へのアンケート等実施

令和7年3月 令和6年度第3回部活動地域移行検討委員会の実施

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（3 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1 クラブ
全体の指導者数	5 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
加世田柔道	地域スポーツ団体	柔道	週 5 回	18:30～ 21:00	1年：2人 2年：1人 3年：4人	令和6年 7月～令和7年3月	加世田中学校	1人	1人	年会費 1,500円	地域クラブ
坊津柔道	地域スポーツ団体	柔道	週 4 回	17:00～ 19:30	1年：2人 2年：1人 3年：1人	令和6年 7月～令和7年3月	坊津学園	2人	1人	年会費 1,500円	地域クラブ
加世田陸上	地域スポーツ団体	陸上	週 3 回	17:30～ 19:00	1年：10人 2年：4人 3年：7人	令和6年 7月～令和7年3月	OSAKO YUYA Stadium	2人	1人	年会費 1,500円 活動費（年） 5,000円	中体連，その他とも 部活動又は 地域クラブ

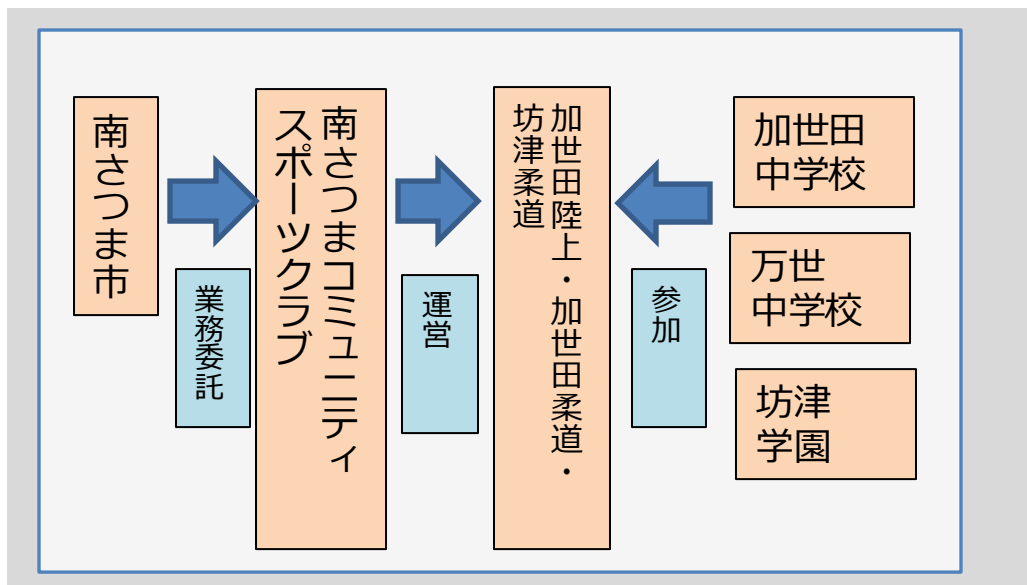
2.実証内容と成果

主な取組例

●南さつまコミュニティスポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上, 柔道
運営団体名	加世田陸上 加世田柔道 坊津柔道
期間と日数	4月1日～3月31日 週1回程度
指導者の主な属性	高校教諭 市職員 等
活動場所	OSAKO YUYA Stadium 加世田中学校・坊津学園武道館 等
主な移動手段	徒歩, 自転車, 保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	年会費 1,500円 年活動費 5,000円(陸上)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり: 800円/年 指導者1人あたり: 1,500円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●地域指導者

役割: 休日等における, 陸上の指導を行う。

休日等における大会等の指導, 引率を行う。

部活動顧問と連携を図り, 練習等を行う。

●部活動顧問

役割: 地域指導者と連携を図り, 大会等への参加手続き等を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

南さつまコミュニティスポーツクラブ
との業務委託契約

実施競技：陸上，柔道

【委託内容】

- ・指導者の派遣業務
- ・指導者の活動実績報告の確認
- ・指導者謝金の支払業務
- ・保険加入手続き業務
- ・その他必要となる事項

取組の成果

- ・運営団体が同じ庁舎内にあり，連携を図りながら事業を実施できた。
- ・南さつまコミュニティスポーツクラブのスタッフが，指導者の派遣業務を行い，活動実績報告で毎月の活動内容や活動回数の確認を毎月行った。
- ・指導者謝金支払業務を委託し，指導者への謝金の支払を適正に行うことができた。
- ・コミュニティスポーツクラブの会員になることで，スポーツ保険の加入を確実に行うことができた。
- ・南さつまコミュニティスポーツクラブの会議を定期的に開催し，運営団体と地域クラブで実施状況等の確認がなされた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

南さつま市では，コーディネーターの配置なし。

今後の課題と対応方針

今年度は6種目（陸上，柔道，剣道，バレーボール，バスケットボール，卓球）で地域クラブ活動を開始する計画であったが実施できなかった種目があった。検討委員会や学校，クラブ，コミュニティスポーツクラブと課題を検証する。

以下の点について次年度，検討委員会等で協議する。

- ・指導者の確保
- ・受益者負担
- ・定期的な連携
- ・コーディネーター配置
- ・困窮世帯への支援
- ・ガイドラインの策定
- ・継続的な活動推進のための支援の在り方

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

本市では現在、総合型地域スポーツクラブ「南さつまコミュニティスポーツクラブ」に所属するクラブで休日の地域クラブの指導を実施する。

南さつまコミュニティスポーツクラブ以外の団体を運営主体として指導団体を増やしていく。

取組の成果

今年度も昨年度に引き続き、南さつまコミュニティスポーツクラブに所属する地域クラブで休日の指導を実施することができた。実証事業を行っている地域クラブは、長年、地域のクラブとして活動しており、クラブ設立当初から指導者が交代しているクラブもある。しかし、地域のクラブとしての伝統があるため、指導者が代わっても引き続き、保護者や地域から支援や協力をもらいやすい素地ができている。また、長年、指導に携わっている指導者もあり、本市のスポーツの振興に貢献している。

練習場所については、学校や市の施設を確保し練習を実施している。地域クラブが中体連の大会参加する際は、手続きは部活動顧問が行う等、学校と連携しながら進めた。陸上競技においては、大会参加の人数枠がある種目があるため、学校部活動と連携を図りながら、多くの生徒が大会に参加できるように調整や、学校として出場しない大会にクラブとして出場する等の調整を図った。

バス等の運行実績

・運行実績なし

バス等の運航経費・収入

・運行実績なし

今後の課題と対応方針

当初計画していた南さつまコミュニティスポーツクラブ以外での地域クラブ運営については、関係機関との連携がうまく図れなかったため実施できなかった。地域スポーツクラブ活動を充実させるためには運営主体の受入体制の整備が必要である。今後、南さつまコミュニティスポーツをはじめ、市スポーツ少年団、市スポーツ協会との連携を行い、運営主体の拡大や地域指導者の確保に向けた取組を継続していく。また、関係部署の設置やコーディネーターの配置等の検討を行い、本市で継続的な運営が可能な組織づくりを委員会等で検討する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度は、事業計画時に予定していた部活動が地域クラブ活動開始に至らなかったことが大きな課題となった。その理由としては、他市に勤務している教員の営利企業許可申請が認められなかったことや、他団体に所属していること、コミュニティスポーツクラブの趣旨と生徒の目標の相違等であった。

一方で昨年度から実施している地域クラブについては、充実した活動となった。指導者謝金は、特に県外の大会に出場、参加する際の旅費や宿泊費等に活用できることがありがたいとの話があった。参加している生徒からも地域クラブ活動が充実していると感想があるので、今後も活動を継続していく。

現在の課題としては、休日の指導をする地域指導者が少ないこと、部活動指導者と地域指導者の指導方針の相違、休日の指導を自分で行いたい部活動指導者がいる等が挙げられる。また、地域クラブ活動が進めば、運営主体や地域クラブのスタッフの確保や参加費用を含めた受益者負担についても検討する必要がある。市のガイドラインの策定を進め、生徒が継続的にスポーツ活動に親しむ機会を確保する。

●成果の評価

- ・ 令和5年度に引き続いて令和6年度も運営主体を南さつまコミュニティスポーツクラブに委託したことにより、派遣業務や事務業務等が円滑に実施できたため、地域クラブ活動を充実させることができた。
- ・ 3つの地域クラブで活動している生徒は、いずれも小学生と一緒に練習しているクラブである。中学生が小学生に声をかけたり教えたり、一緒に練習したりする姿が見られた。大人も一緒に練習しているクラブもあり、地域クラブとして、生涯にわたってスポーツに親しむことができる活動となっている。

●今後に向けて

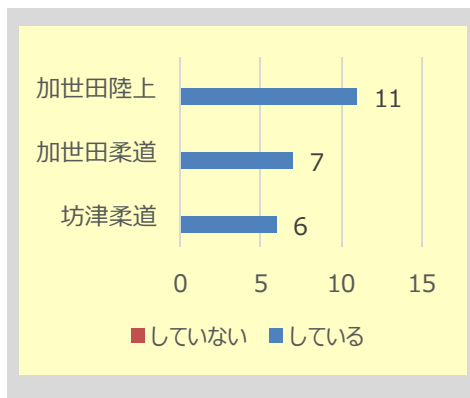
- ・ 休日の部活動地域移行について、市のガイドラインの策定を進める。
- ・ 課題について、部活動地域移行検討委員会で協議し、生徒が継続的にスポーツ活動に関わり続けられるような体制を作る。
- ・ 九州大会や全国大会等に出場する際の、旅費・交通費等の支援の在り方について、関係課とも連携しながら検討していく必要がある。
- ・ 継続的な取組になるように、専門部署の設置や関係部署の確認、総括コーディネーターの配置等について協議する。
- ・ 令和6年12月に示された実行会議の中間取りまとめを受け、南さつま市としてどのような形で生徒が継続的にスポーツに親しむ環境を整備していけばいいかを、令和7年度の検討委員会で協議していく
- ・ 他自治体の好事例を参考にする。
- ・ 学校や関係団体との連携や協議等を強化する。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.①現在の休日のクラブとしての活動は充実していますか。(24名回答)

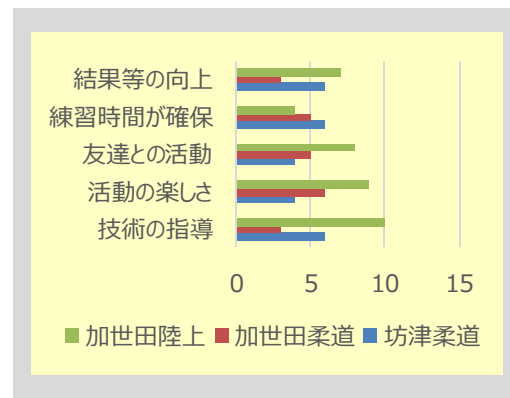


Q③活動の感想や意見があったら書いてください。

- ・ 練習はきついが、結果が出た時はうれしい。
- ・ 他校の人たちと練習できるところがいい。
- ・ 部活動より練習が長い時間できるので、技術的なことも時間をかけて練習できる。
- ・ しっかり練習できるので実績を出しやすく、楽しくて充実している。

R7.2月 生徒アンケート、聞き取り結果

Q.②「充実している」と回答した人は、理由を教えてください。(複数回答)



【アンケート結果等の考察】.

アンケートの結果からわかるように生徒は休日の地域クラブ活動について充実していると感じている。また、練習がきつかったり、厳しかったりする中で、技術の指導が受けられることや結果等の向上等友達との活動を通してとして楽しさを見出しているようである。今後もアンケートや聞き取りを通して実態把握に努めたい。

●参加者の声

中学生 (加世田柔道)

先輩や先生等から技術をしっかり教えてもらったおかげで県大会の団体戦で優勝して、全国大会、九州大会に出ることができました。柔道をやっていてよかったと思えました。

中学生 (坊津柔道)

練習がきつい時はありますが、その分強くなれるのでいいと思います。季節に左右されずに練習時間を確保できるのでとても充実しています。先生方の指導はとてもわかりやすく強くなることができました。

中学生 (加世田陸上)

短距離の専門的な練習をすることができ、コーチが一人一人をよく見てくれていて、とても充実した陸上の練習ができています。他校の子ともコミュニケーションがとれて楽しく活動することができえます。

指導者

中体連の大会に出場する際は、部活動顧問の先生が手続き等をしてくださるのでありがたい。練習を指導者だけでなく、生徒同士で学び合う時間を設けている。厳しさと優しさを使い分けながら指導を行っている。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【加世田柔道】



【坊津柔道】



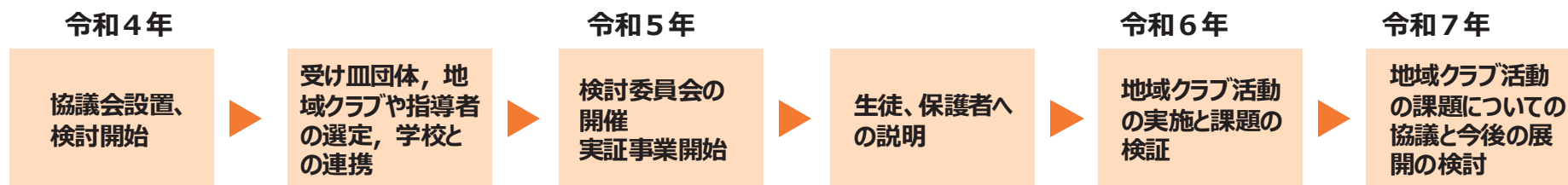
【加世田陸上】



【加世田陸上】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校 文化協会 市教委 スポーツ関係協会、競技団体

●経過

令和4年

南さつま市中学校部活動地域移行検討委員会を設置し、本市における部活動の地域移行についてどのように進めていくかの方向性についての検討を行うため、担当課において委員の選出について協議を行った。地域移行に関わるであろう各種団体の代表に依頼し委員を委嘱した。

第1回の会議を10月に実施し、国の方針や本市の現状について説明を行い、地域移行が目指す方向性を検討していくことを確認した。

令和5年

1回目の検討委員会で坊津柔道、加世田柔道、加世田陸上において7月から実証事業を開始することを確認した。令和5年度は検討委員会を3回開催した。

令和6年

検討委員会を3回実施し、休日の地域クラブ活動や南さつま市の改革の方向性等について検討した。また人材バンク作成に着手した。

●実施にあたって生じた課題

- ・ 地域クラブ活動を展開する際の指導者の確保
- ・ 休日の地域クラブ活動の運営主体の受け入れ状況確認
- ・ 他の受け入れ団体の確保
- ・ 平日の地域クラブ活動への移行の課題整理
- ・ 受益者負担と市の費用支援のバランス
- ・ 中体連主催の大会参加への費用負担
- ・ 部活動顧問と地域指導者の指導方針の共通理解
- ・ 市のガイドライン
- ・ 実施主体の業務内容分担

●実施内容、工夫した点等

- ・ 現状と課題の整理
- ・ 地域スポーツクラブとの連携による、課題の整理
- ・ 検討委員会の開催と成果、課題の共有
- ・ 市人材バンクの作成着手
- ・ 市ガイドラインの策定に向けた検討

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		部活動地域移行ロードマップ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	</
--	--	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----